

Society5.0時代の過疎地域における 地域コミュニティ再生の可能性

東京大学フィールドスタディ型
政策協働プログラム提案書

山形県鶴岡市温海庁舎

山形県鶴岡市（温海地域）の紹介

山形県鶴岡市

- ▶ 山形県庄内地方の南部に位置し、古くは庄内藩の城下町として栄える。
- ▶ 平成17年10月1日、鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、**温海町**の1市4町1村が合併し、新鶴岡市が発足。
- ▶ 新鶴岡市の人口は約13万3千人で、県内では2番目、面積は1,311.53 km²（東京23区の約2倍）東北では一番広い市となる。



温海地域

- ▶ 三方を摩耶山系の豊かな山々に囲まれ、西側には変化に富んだ海岸線が続く、自然の魅力が凝縮された地域
- ▶ 自然に育まれた高品質の農林水産物
- ▶ 温海温泉は、開湯1200年の県内有数の温泉地



◀ 400年以上続く伝統的焼き畑農法での栽培「温海かぶ」



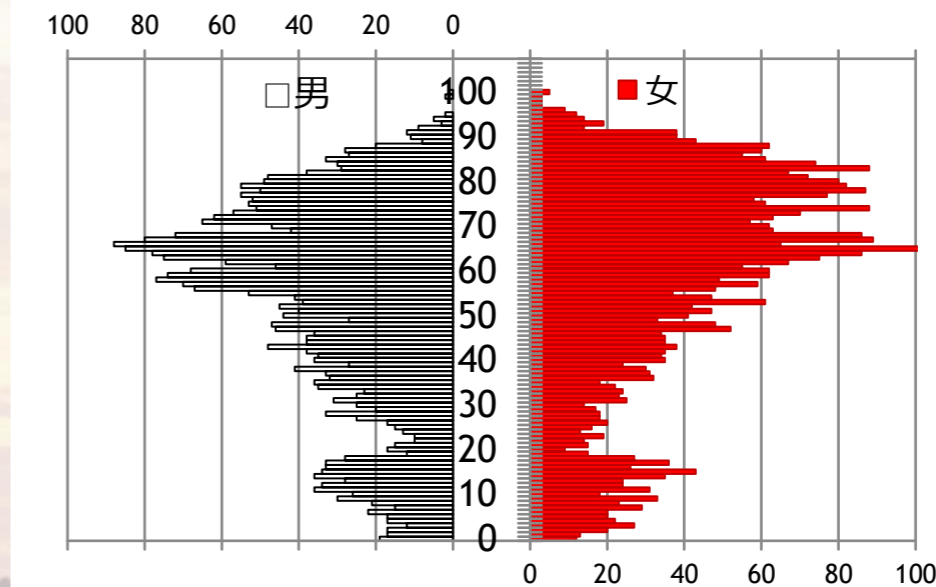
◀ しなの木の樹皮繊維を糸にする伝統的工芸品「羽越しな布」

温海地域の課題①

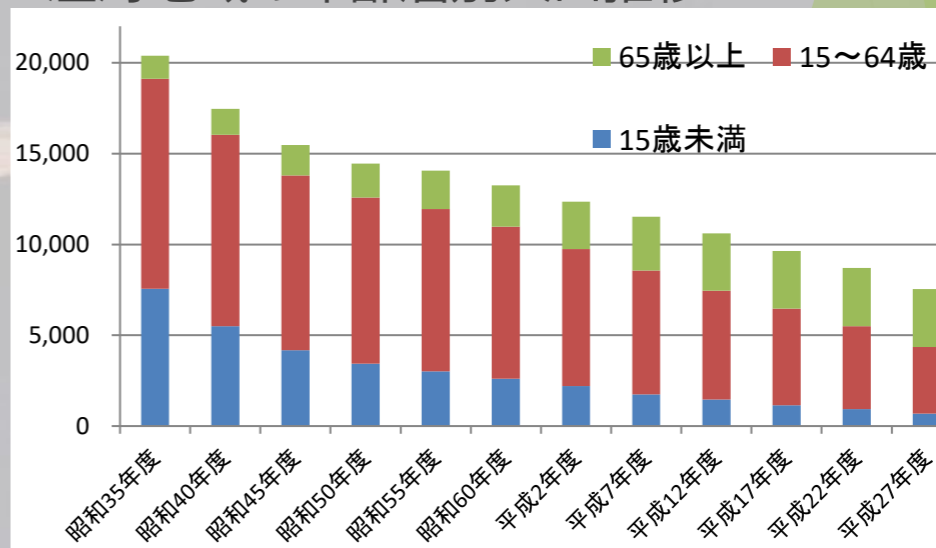
一方で・・・

- ▶ 土砂災害、津波等の自然災害のリスクが高い
- ▶ 農業は地形的制約から大規模化が難しく、経営効率は低い
- ▶ 工業団地もなく、小規模事業者が主であり、若者の就業の場が不足
- ▶ 利用者減少によるバス路線の廃止、減便
- ▶ 商店や医療機関等生活サービス機能が低下
- ▶ 少子化による保育園、小中学校の統廃合、県立高校の廃校
- ▶ 人口減少、高齢化により、人材不足、財政難等集落の自治機能が低下、地域文化の継承も困難に

▶ 温海地域の人口ピラミッド



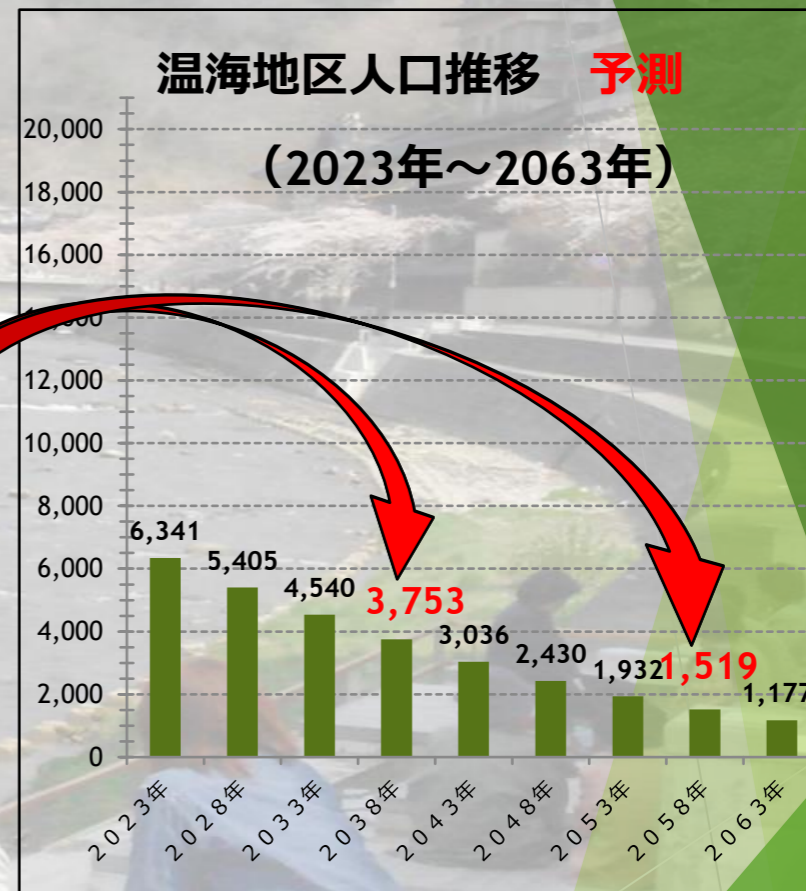
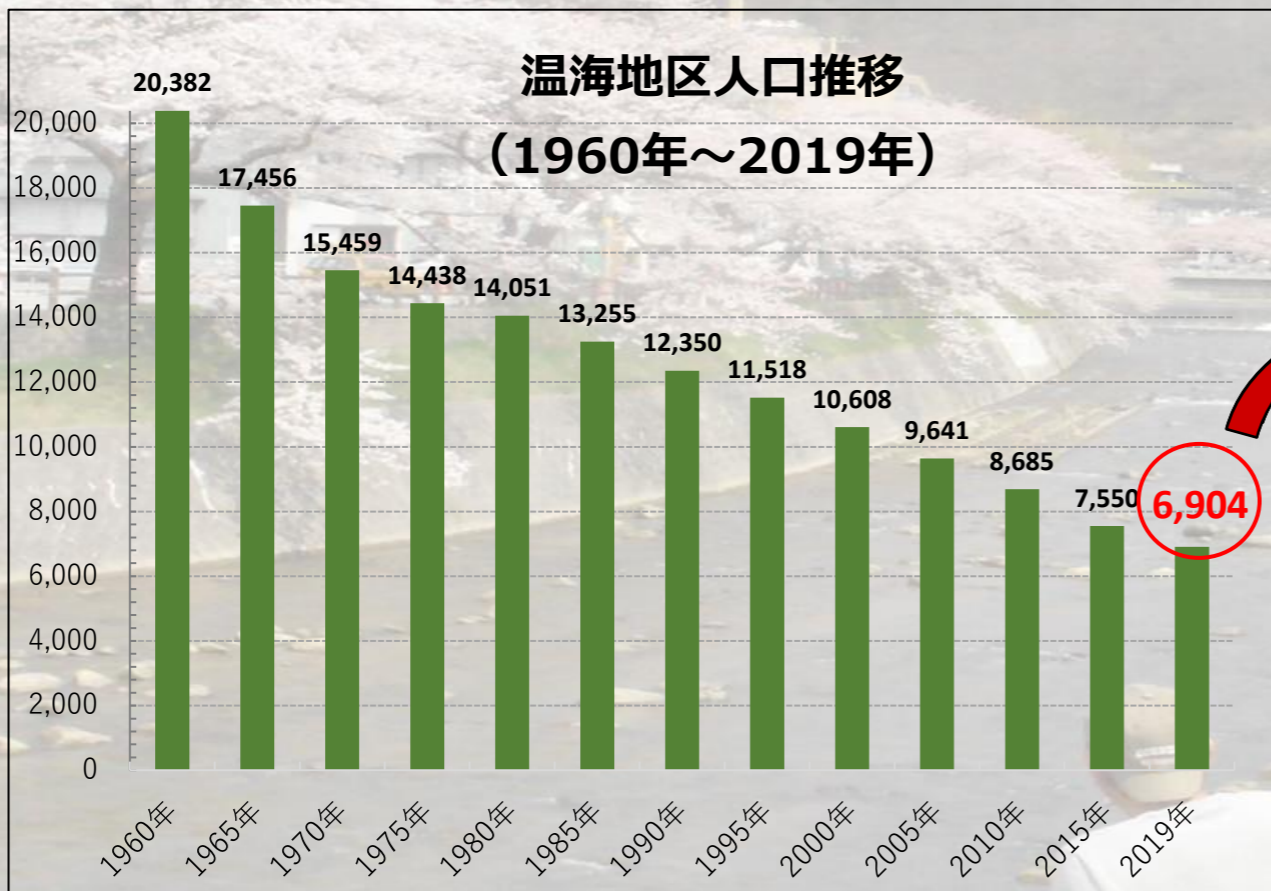
▶ 温海地域の年齢層別人口推移



温海地域の課題②

▶ 温海地域の人口予測シミュレーション

(現状のコーホート変化率・修正率・若者転出率で計算)



温海地域は、鶴岡市街地から30～40 km離れていることから、子育て世代を中心とした若い年代層が市街地へ転出し続けた結果、毎年200人が減少。現在は、1960年(昭和35年)の約**1/3**。このまま推移すると・・・20年後**1/2**に！40年後**1/5**に！これまで維持・継承されてきた地域行事や祭典、伝統芸能・文化、農作業、地域の共同作業などの実施、継続が難しくなっている。

関係人口の創出・拡大

▶ Society5.0時代にふさわしい仕組みづくり

経済財政運営と改革の基本方針2019〔令和元年6月21日閣議決定〕

東京一極集中の是正、地方への新たな人の流れの創出

- 特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の増加、二地域
居住・就業の推進

▶ まち・ひと・しごと創生基本方針2021〔令和3年6月18日閣議決定〕

【基本目標2】 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
各分野の政策の推進

(2) 地方とのつながりの構築

① 関係人口の創出・拡大

▶ 第2期 鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略〔令和2年3月〕

【基本目標2】 ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす
具体的な施策

- (1) 移住・定住・地元回帰の促進
- (2) 関係人口・交流人口の拡大

プログラムのテーマ・スケジュール

▶ 関係人口への期待と関係人口になるきっかけづくり・土壌づくり

温海地域の人口減少に歯止めをかけることは難しいと考えるが、地域外の人に対し、温海地域の担い手としての活躍を促すことで、地域の活力を維持・発展させ、更に多くの若者との関わりの中で住民が刺激を受け、交流が新たな価値を生むなど、地域活動が活性化することを期待している。

地域課題の解決に向けては、外部人材の協力が必要不可欠である。地方に何かしら関わりを持ちたいと考えている「都市住民」が温海地域に関わる仕組みづくりと、都市住民の視点で魅力と感じるコンテンツ、関わりしろとなる課題の洗い出し、磨き上げについて調査、分析をお願いしたい。また、地域内外の多様なメンバーが継続して地域づくりに関わる仕組みを一緒に考えていただきたい。

▶ プログラムのスケジュール

6月

活動計画打合せ
 現地活動についての事前説明
 2021年度までの活動経過の共有

8月中旬～9月

現地活動（2泊3日～3泊4日）
 地域資源についての調査活動（各種体験、視察、ヒアリング）、関わりしろの実践
 地域住民、地域団体との意見交換

11～1月

オンラインによる地域交流会
 地域住民、地域団体との意見交換会（回数や持ち方は、学生と相談）

2～3月

地域住民、地域団体、行政職員を対象とした現地報告会

行政の支援：現地活動、オンライン地域交流会の支援
 地域住民、地域団体・組織、地域おこし協力隊OBとの連携・交流のセッティング
 地域内の移動、施設の案内や手配等

東大生とつくる
職業図鑑で
地域を変える！

高畠町商工観光課
ブランド戦略係長

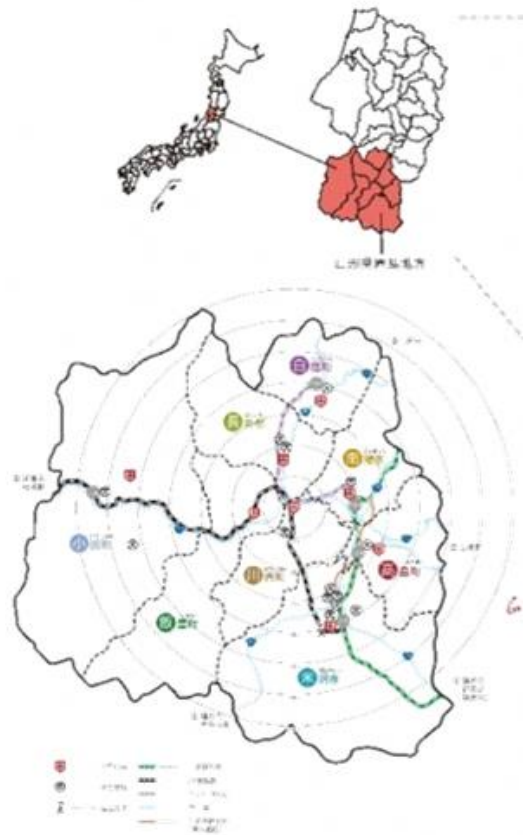
ブランド戦略室
鈴木祐介

山形県高畠町とは

人口 約23,000人

1973年、近代農業が推奨される時代に、地域環境を大切に
するため高畠町有機農業研究会を地域の農業者38名が立ち上
がり、**有機農業**の分野では全国でも注目を集め、現在も有機
農業水稲栽培面積は山形県内でトップを牽引し続けている。
現在は、若手農家たちが「健康な食」を町内に広めることを
テーマに活動をスタートさせた。

また、県内でも**食品加工業**が特出している地域であり、ジ
ャムやドレッシング、ワイン、日本酒などが製造され、全国
の百貨店等でも人気のあるものが多い。最近は、海外進出
(輸出)を視野に入れた事業が展開されている。



将来を考える機会が少ない

地域に触れる時間が少ない



地域で活躍する大人がいる

色々な職業が地域にある

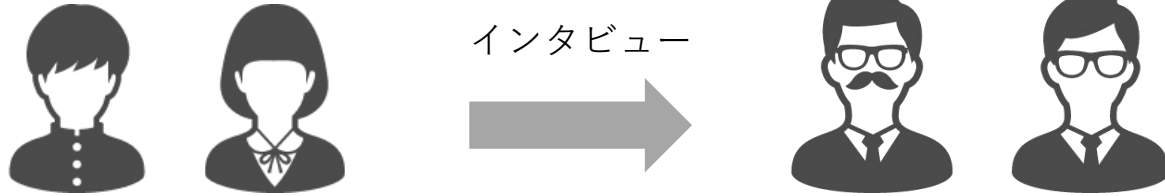


地域を知らずに、町を出ていく

若者の流出、地域力の低下

地域の中高生と地域で活躍する大人が出会える場所

「東大生とつくる職業図鑑」

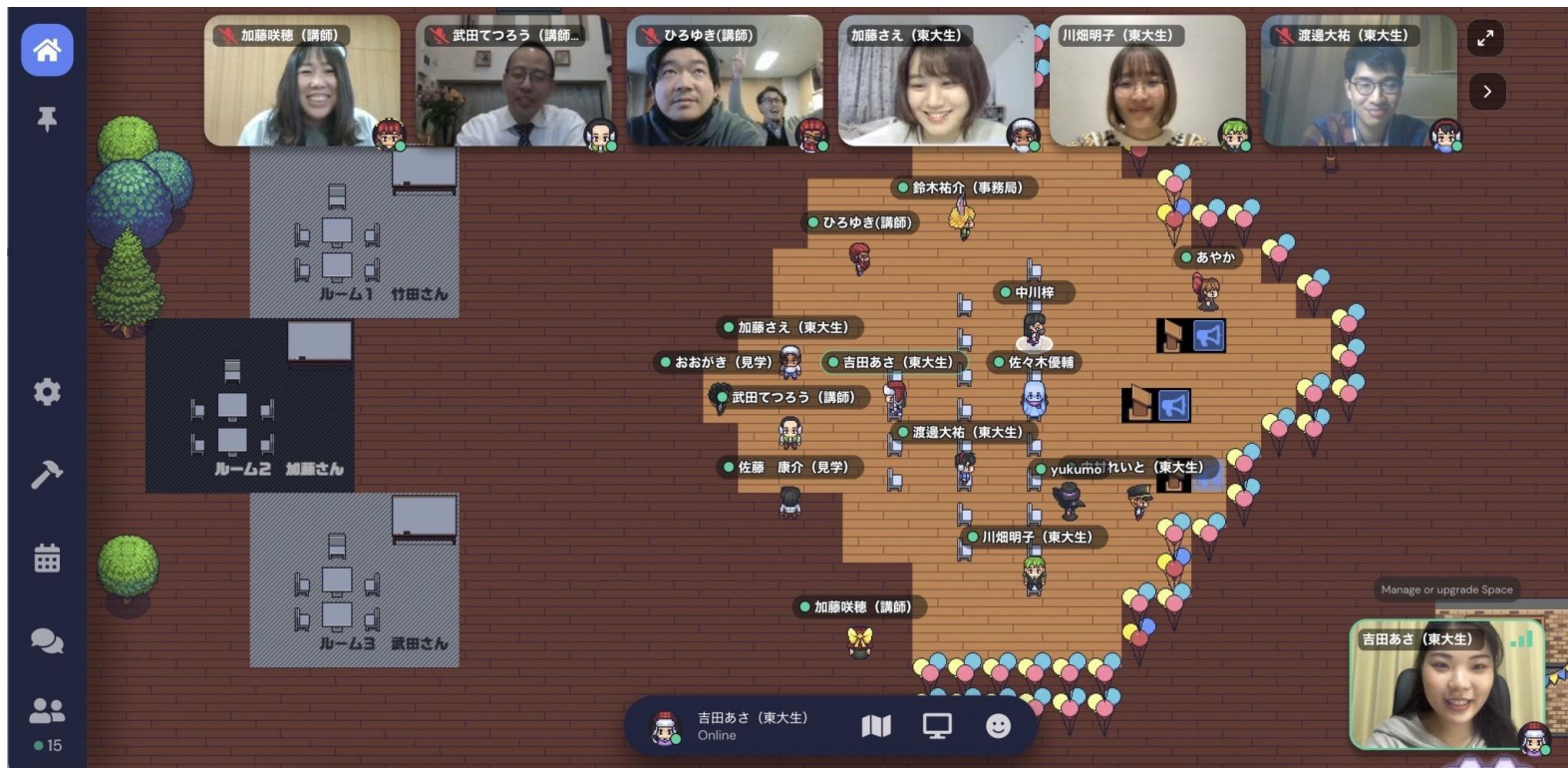


東大生の役割

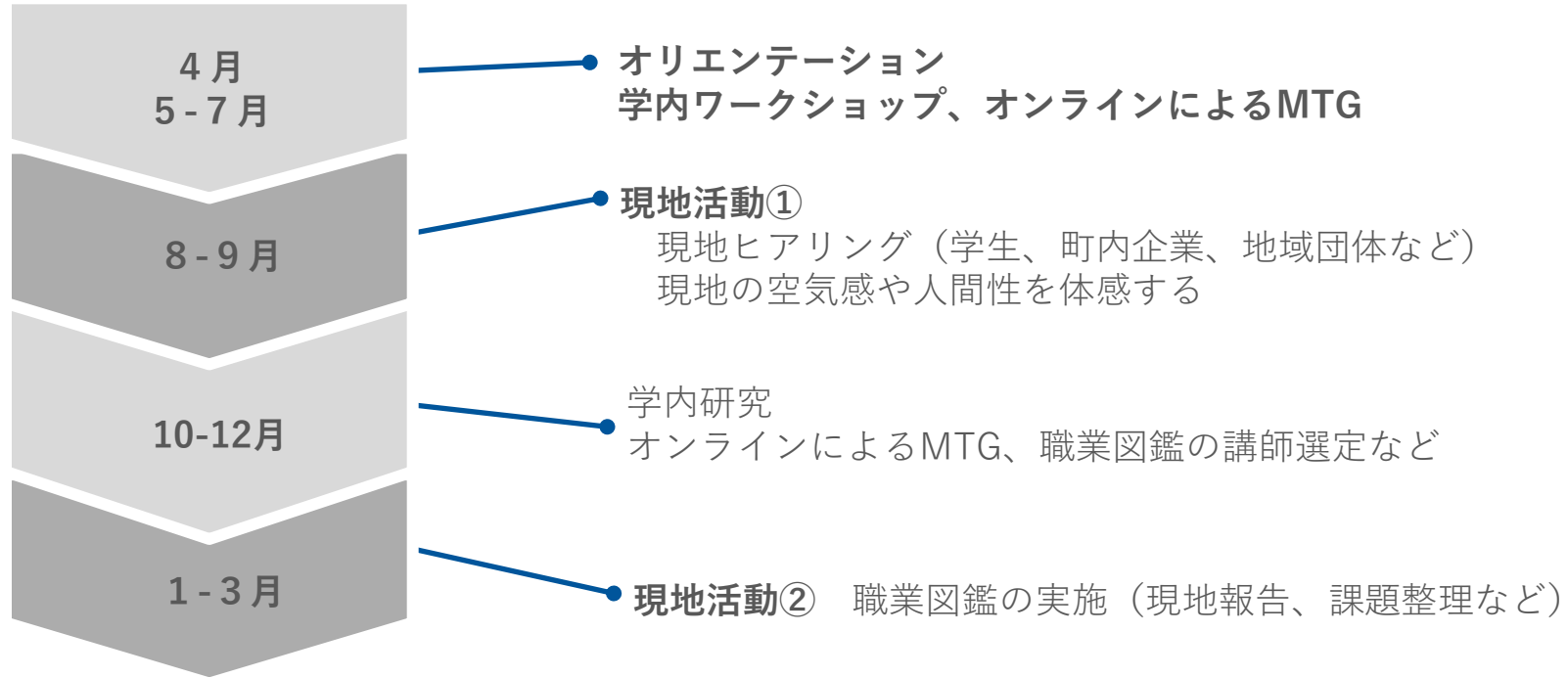
1. 中高生のインタビューをサポート
2. 講師の選定（事前打合せ）
3. 当日のファシリテート

リベラルアーツ精神の種を地域にまく！

2021東大FSでは、オンラインで実施。
もちろん、**リアルの開催**を目指しましょう。



2022年度東大FS 事業スケジュール（予定）



※現地活動や職業図鑑の時期は、コロナの感染拡大状況を見て決定します。



南会津町
MINAMIAIZU TOWN



2022年度フィールドスタディ型政策協働プログラム(FS)

江戸時代から続く古民家の利活用について

福島県 南会津町





南会津町について



南会津町
MINAMIAIZU TOWN

福島県会津地方の南部に位置

人口:14,451人
面積:886.47m²

面積の9割が森林



東武特急リバティで浅草から3時間

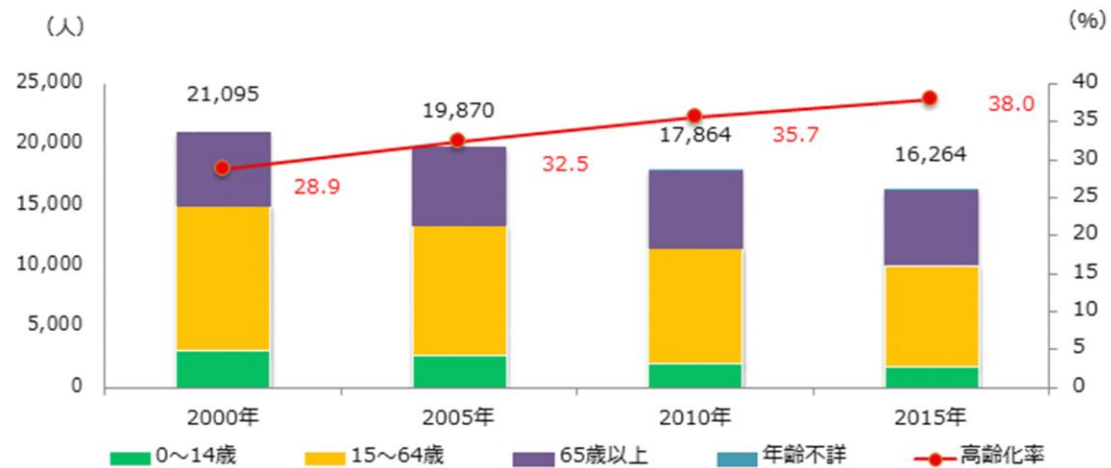
町の現状

現状

- ・700を超える空き家がある
- ・人口減少と高齢化が深刻



南会津町の人口推移



【2015年】

総面積 (km²) 886

平均年齢 (歳) 53.7

昼夜間人口比率 (%) 99.7

人口密度 (人/km²) 18.3

MISSION



南会津町
MINAMIAIZU TOWN

古民家の利活用
方法について提案せよ！





(例) 古民家「糸沢本陣」



南会津町
MINAMIAIZU TOWN

歴史的背景

- ・会津西街道の糸沢宿
- ・町の登録有形文化財
- ・空き家バンク登録物件

立地条件

- ・国道121号沿い
- ・最寄り駅から徒歩10分程度
- ・のどかな農村集落





皆さんに期待すること



南会津町
MINAMIAIZU TOWN

期待すること

- 歴史的文化財の有効活用
- 関係人口や交流人口の創出



行政支援

- 提案設計支援
- FWにかかる調整支援
- 活用可能な制度調査





川内村の自然・文化、新たな地域資源を
活かした**交流人口の拡大**に向けて

フィールドスタディ型政策協働プログラム
オリエンテーション

福島県 川内村

福島県

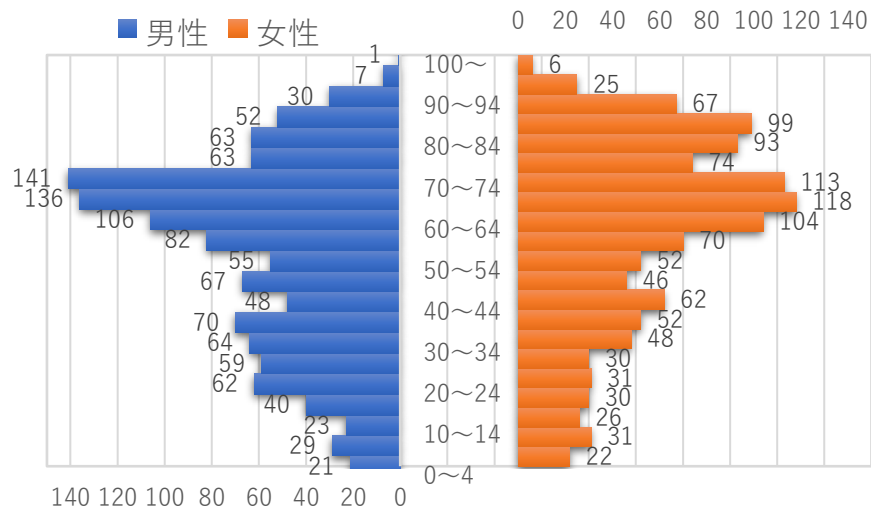
1:750,000
0 10 20 30 km



川内村



川内村の人口ピラミット



■ 東日本大震災及び東京電力の福島第一原子力発電所事故で全村避難を余儀なくされましたが、現在は約8割の方が帰還し村内で生活をしています。

■ 村内生活者1,995人（内 65歳以上の高齢者985人）

■ 人口減少及び少子高齢化が進む中、地域力を維持していくためにも新たな活力の呼び込みは不可欠で、そのためにも川内村に関心を持ってくれる人を増やしていくことが重要と考えます。



天然記念物の「平伏沼のモリアオガエル産卵」



いわな釣りやいわな料理が楽しめる「いわなの郷」

豊かな自然や

伝統文化があります



400年の歴史を持つ「三匹獅子舞」



草野心平ゆかりの「天山文庫」



令和3年に開所した「かわうちワイナリー」



人工光型を利用した野菜工場「KiMiDoRi」

復興に向けて

歩みを続けています



周年栽培が可能となった「イチゴハウス」



移住定住支援センター「かわうちラボ」

FSプログラムで目指すこと

現状と課題

- 生活環境などの復旧が進み、住民の8割が帰還していますが、**若者世代を中心として**残り2割の帰還が進んでいない。
- 川内村の活力を維持するためには、**地域産業や地域活動を担う人材**を確保していくことが重要。
- 一方、川内村には**豊かな自然や誇るべき伝統文化**があるほか、**復興に向けて様々な新たな取組**を行っている。
- 地域資源を活かし、川内村に**関心を持ってくれる人**を増やし、**交流人口を拡大**していくことが必要。

期待すること

- まずは川内村のことをよく知ってもらいたい。
- 地域住民と交流しながら、**実際に見て、聞いて、体験することで川内村の魅力を感じてもらいたい。**
- 若者の感性を活かして、**首都圏の若者が「来てみたい」と思う施策の提言**に期待します。



豊かな自然や温かい住民性に触れながら、
一緒に楽しく取り組んでいきましょう。

夢と希望が持てるまちづくり

あさひまち

富山県朝日町

2022年度

フィールドスタディ型政策協プログラムオリエンテーション

【富山県朝日町】

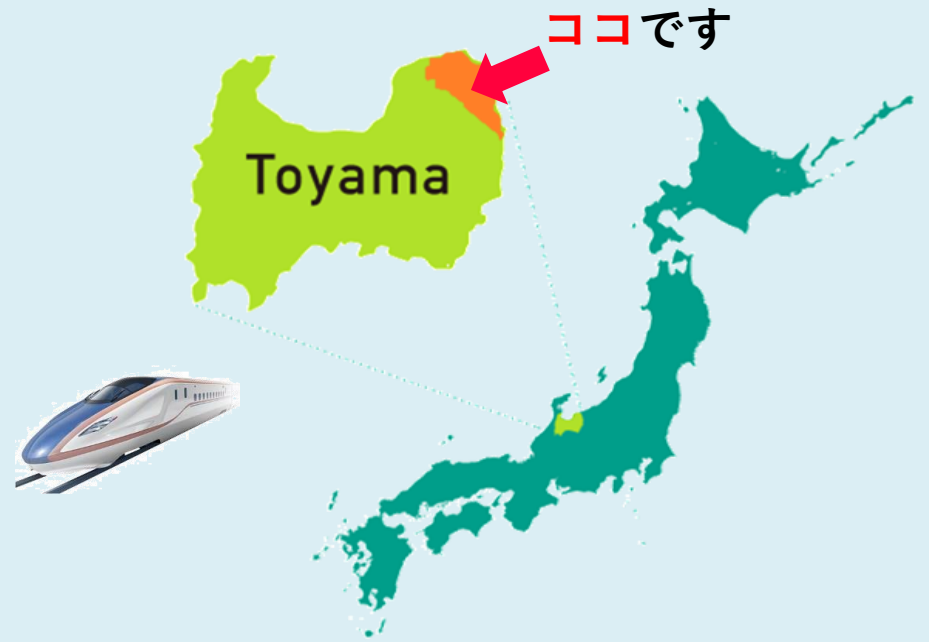
【朝日町の概要】

◎富山県の東端、新潟県との県境の町

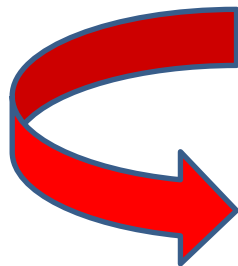
- 人口 **11,247**人
- 世帯数 **4,695**世帯
- 高齢化率 **44.4%**
(令和4年2月末)

【東京からのアクセス】 富山駅まで**約2時間**で到着！

- 平成27年3月14日に**北陸新幹線**が開業！
- 車 ⇒ 約5時間（北陸自動車道「朝日IC」）
- 主要道路 ⇒ 国道8号

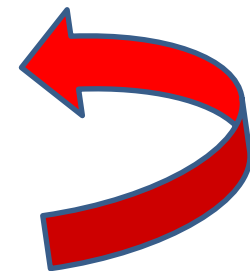


【MISSION】 東大生と共に取り組む政策テーマ 朝日町の再生・地域資源を活かした「稼ぐ力」の創出



人の流れを生み出し
人を呼び込むための地域資源

地域経済循環の創出



あさひ舟川 春の四重奏・ヒスイ海岸

朝日町が世界に誇る **2大景勝地!!**

北アルプスの残雪、桜並木、チューリップ、菜の花の **奇跡の共演!!**
「あさひ舟川 春の四重奏」

<Data> 来訪者数 2019年 43,281人 ⇒ 2021年 49,966人



▼ヒスイテラス

「ヒスイ海岸」

日本の国石「ヒスイ」を含んだ石が打ちあがる海岸。
平成30年には、観光交流、イベント等を通じて、
ヒスイ海岸周辺の賑わいを創出するため、
観光交流拠点施設「ヒスイテラス」がオープンしました。

<Data> ヒスイ海岸周辺来訪者数
2019年 153,694人
⇒ 2020年 129,317人



ビーチボール競技 発祥の地！



「いつでも どこでも だれでも」が
気軽に楽しめるスポーツ



7月“翡翠カップ”ビーチボール全国大会

<Data> 令和元年度：150チーム、750名参加
全国学生ビーチボール交流大会

9月 全国ビーチボール競技大会

<Data> 令和元年度：328チーム、1,595名参加

※令和2・3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし。

令和4年度は、感染症対策に万全を期しながら開催！！

【地域課題から考える「稼ぐ力」の創出】

【課題】

- ・ **地域資源（観光・交流）があるにもかかわらず、経済効果（町内消費）への波及がない。**

【具体的な活動】

●町の経済循環をもたらすポテンシャルの調査・研究・提案

＜提供フィールド＞

- ①あさひ舟川 春の四重奏 ⇒オンラインによる情報提供（予定）
- ②全国ビーチボール大会 ⇒現地視察により体験・体感（予定）

●現地活動

- ・ 商工事業者や農業者、商工会青年部、地域等との交流
- ・ （一社）みらいまちLABOが実施する起業家セミナーへの参加

みらいまちLABOプロジェクト ◎全国の好事例を富山に！ ◎富山の好事例を全国に！

「みらいまちLABO」は、地方創生や起業家育成を目的に、令和元年5月に朝日町で設立しました。
代表は、レオス・キャピタルワークスの藤野英人社長。

活動としては、全国レベルで活躍されている経営者、まちづくりの専門家などをお招きし、議論して、相互に学びあう「定例勉強会（セミナー）」を開催しています。

「稼ぐ力」をもたらす仕組みづくりの検討

【活動内容】

- 活動地域 朝日町全域
- 活動内容 「稼ぐ力」の
ポテンシャル調査・研究・政策提言
- 活動期間 5月下旬～3月 オンライン×現地活動
(8～9月：現地活動、3月：現地報告会)
- 受入体制 朝日町企画財政課/みらいまちLABO

※具体的なスケジュールや役割分担等は、参加人数や学生の予定を踏まえて決定します。

皆さんの柔軟で斬新な発想と視点で、
地域再生への糸口を共に考えていきましょう

学生と地域が、
「無人化駅」
「まちづくり」
「SDGs」で、
能美の価値を創造 !!



石川県 能美市 (のみし)



駅の概要・課題



【駅の概要】

- ・ 能美市唯一の鉄道駅「JR能美根上（のみ ねあがり）駅」
- ・ 1日平均乗車人員約1200人（令和元年度）
- ・ 市外への通勤・通学者、市内への通学者（高校）が中心
- ・ 2013年に駅舎立て替え（橋上化）、2014年に駅名改称（寺井駅→能美根上駅）

【課題】

- ・ 2030年までに**駅員無人化**に（2020年にJR西日本からプレスリリース）
駅員無人化による「利用者の不安（特に高齢者や障がい者）」 「治安悪化の不安」 etc
→ サービス面の維持、治安の維持
- ・ コロナ禍による**鉄道利用者の減少**→ 駅利用者（鉄道）の増加
- ・ 駅前商店街の賑わい減少、空き店舗の増加→ 駅周辺地域の活性化



機 会

- ・ 2020年、能美市が「SDGs未来都市」に選定
(2021年にSDGs推進室設置。SDGsを活かしたまちづくりを推進)
- ・ 2022年12月20日、駅開業110周年 (参考：東京駅開業108周年)
- ・ 2023年に国民文化祭in石川、加賀立国1200年記念イベント
- ・ 2024年春に北陸新幹線敦賀開業 (石川県内全線開業、新幹線最寄駅「小松駅」に)
同時に、並行在来線が第3セクター化 (IRいしかわ鉄道)



☆ミッション☆

学生と地域が、「無人化駅」「まちづくり」「SDGs」で、
能美の価値を創造 !!



学生のみなさんに期待すること

- ・ 能美根上駅や駅周辺・能美市の現状、
鉄道利用状況や2次交通の現状・課題を把握
(全国の事例も)



- ・ 地域住民とともに駅を活用した
SDGs視点の持続可能なまちづくりの方策提案
- ・ 駅開業110周年記念の企画提案



「あるもの活かし」
「SDGs活かし」

この取り組みを
地方における無人化駅を活用した持続可能なまちづくりの
モデルとして、全国に発信したい！



パートナー候補・スケジュール



【パートナー候補】



【スケジュール】

- 6月 顔合わせ、キックオフ
- 7月～8月 各種情報収集、調査、
打合せ（オンライン、随時）
- 9月 現地活動
- 10月 中間報告（オンライン）
- 11月 駅開業110周年企画立案
- 12月 企画提案（オンライン）
- 1月 現地報告に向けた取りまとめ
- 2月下旬or3月上旬 現地報告会

石川県能登町 能登の里山里海を紡ぐ関係人口創出

NOTO CHOICE 01

大人を忘れる。

#昭和 #平成 #少年時代 #少女時代

NOTO CHOICE

「動詞をベースとする」新しいガイドマップ

F S 5 期生企画をアップデート/実装へ



【能登町の概要】

世界農業遺産「能登の里山里海」が体感できるまち



2020年国勢調査

◆人口 15,687人
高齢化率 50.4%
面積 273.27km²

◆就業者数 8,248人
1次産業 16.9%
2次産業 22.3%
3次産業 60.8%

◆首都圏からのアクセス
羽田空港～のと里山空港 60分
空港から市街地まで25分



定置網漁・いか釣漁が盛ん



田の神様に感謝「あえのこと」



日本遺産「キリコ祭り」

数字的には無理ゲー → これをワクワクに変えたい！

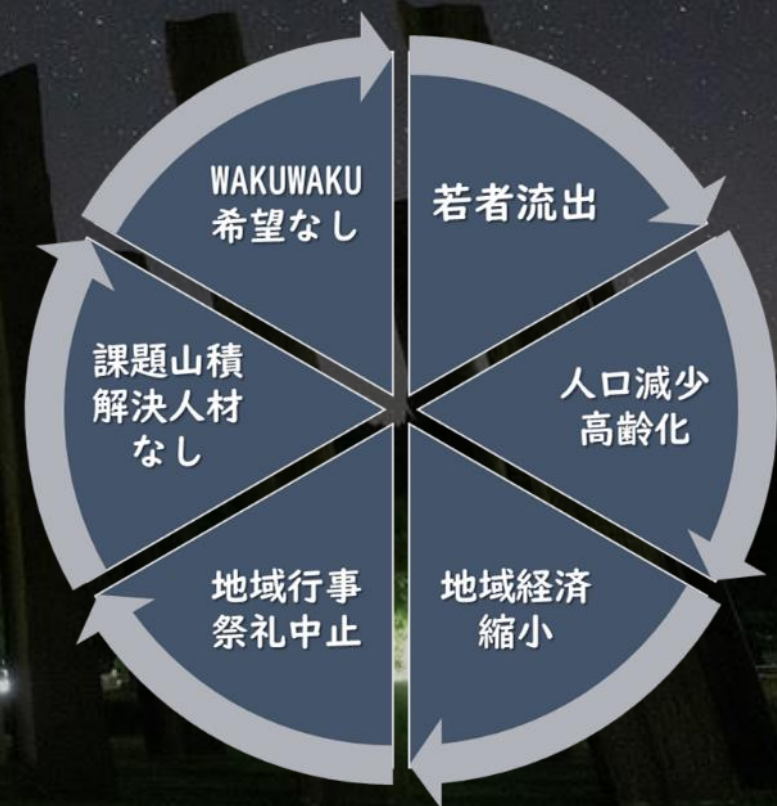
将来人口推計

	2020年	2045年
人口	15,687人	7,259人
高齢化率	50.4%	57.7%
※2045年	90歳以上が11.2%	

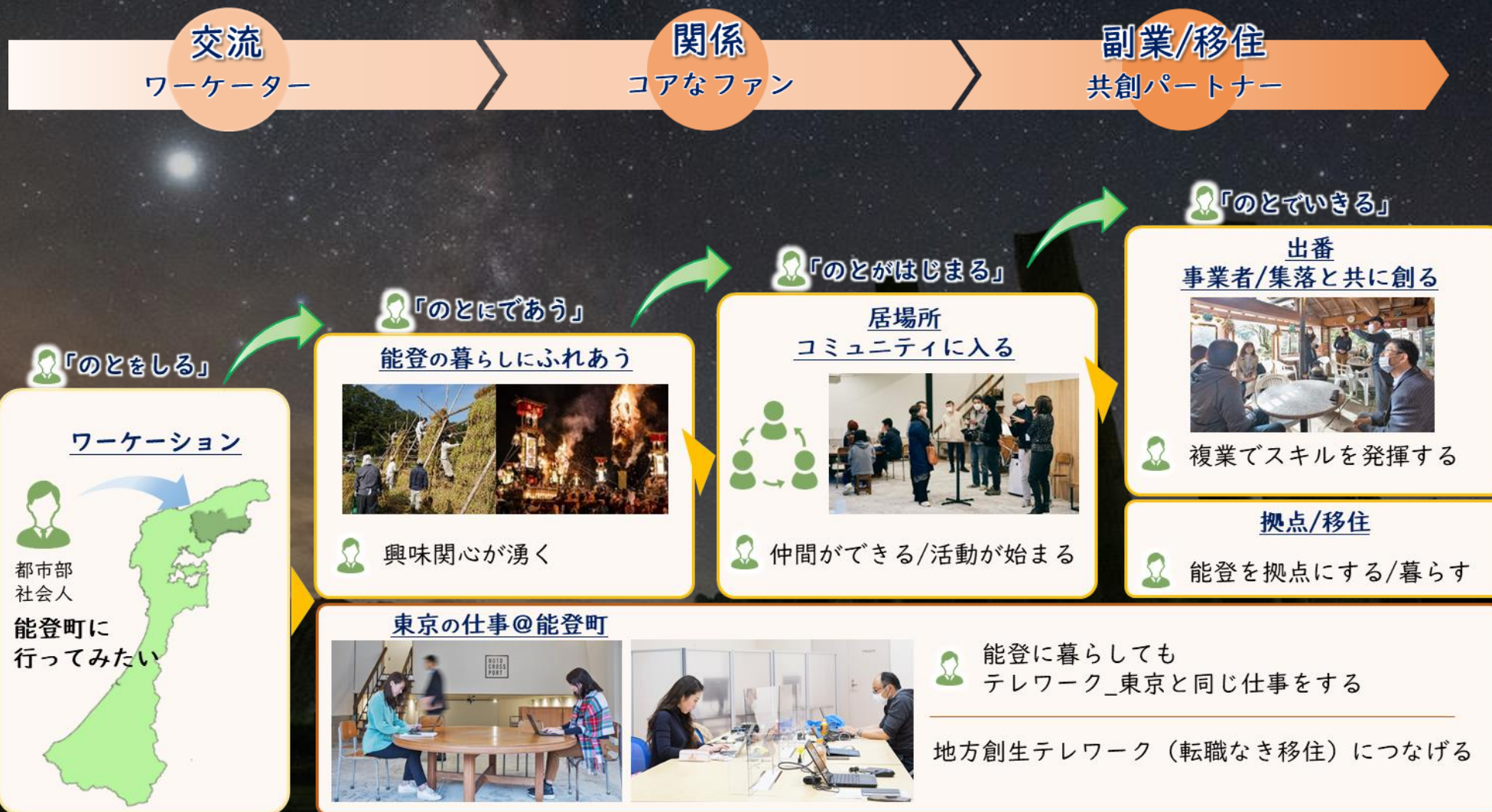
- ・ ライフステージごとの人が少なくなる
- ・ 過疎化による一人当たりの距離や空間が広がる
- ・ 高齢化による人口構造の変化
- ・ 就業者や地域社会の担い手の減少

能登の暮らしが受け継げない

若者流出から始まる負の連鎖



【目指す姿】 能登町に人が集まり、「課題解決」と「人材育成」ができる



FS5期生が企画した のとにであう/コアなファンのきっかけをつくるツール

“NOTO CHOICE” をアップデート/実装する

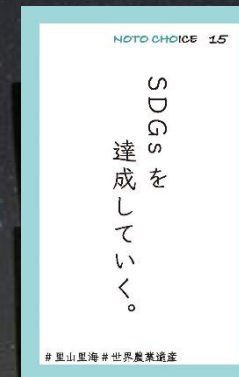


「動詞をベースとする」新しいガイドマップ

NOTO CHOICE

◆コンセプト

- ①能登町の魅力を「選んだ」カード
- ②能登町を「選ばれる」町へ
- ③NOTOCHO-ICE (能登町を愛す)



4月 18枚カードで実証実験スタート@活動交流拠点「ノトクロスポート」

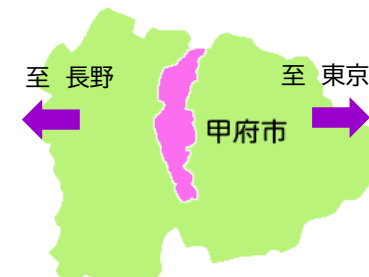
【活動概要】

○募集人数 3名

○活動地域 能登町全域/東京都

○活動内容 NOTO CHOICEの効果検証/実装に向けた活動
その他、関係人口創出事業に関わる活動

○活動期間 6月～ 顔合わせ@オンライン/実証実験効果検証 オンラインmtg 月2回
8 or 9月 現地活動/能登暮らし体験調査 5日間程度(調整可)
9月～ 現地活動実装に向けた企画立案/提案 オンラインmtg 月2回
2月 現地報告会@能登町



甲府市の概要

面積 212.47 km²
(東西:23.1km/南北:41.6km)

人口 189,591人

世帯数87,019世帯

1世帯あたりの平均人員2.18人
(令和2年国勢調査)

甲府の歴史

1519年(永正16年)
武田信虎公(武田信玄公の父)が
躑躅が崎の地に館を構える

1583年(天正11年)頃
一条小山に甲府城が築かれる
→現在の中心市街地が形成

1889年(明治22年) 7月
甲府市制施行

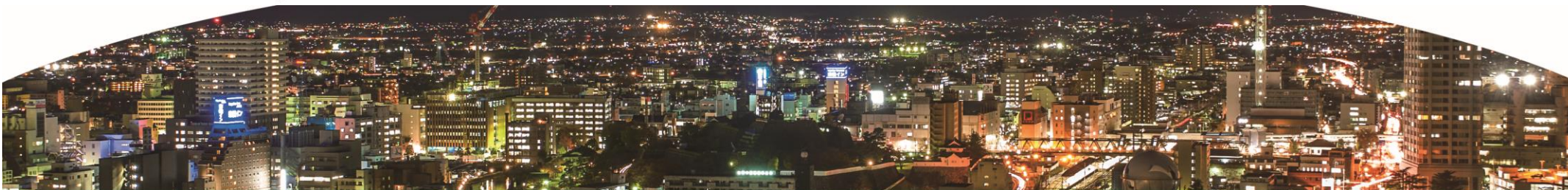
1903年(明治36年) 6月
中央線 甲府駅開業

1982年(昭和57年) 11月
中央自動車道 全線開通

2019年(平成31年)
中核市に移行

2021年(令和3年) 8月
中部横断自動車道
山梨～静岡間 全線開通

2027年(令和9年)
リニア中央新幹線開業予定



1 活動地域の現状

甲府駅を中心とした観光拠点の機能不足

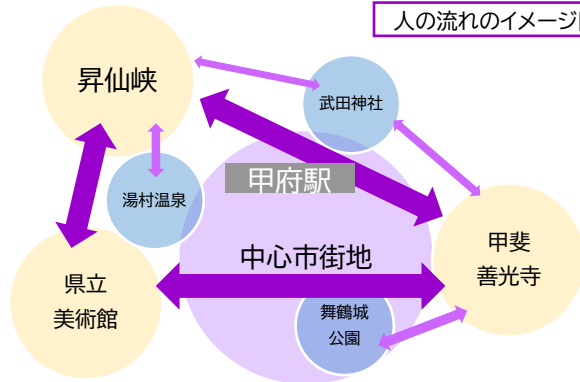
概要

- JR中央線、中央自動車道、国道20号線、中部横断自動車道と交通の結節点であり、アクセスのしやすい条件は整っている。ところが、その中心となる甲府駅周辺を観光客が周遊する仕掛けが不足している。

甲府駅を囲むように存在する観光施設、それぞれがメジャースポット

- 甲府駅を中心に南側は、県内で一番の飲食店集積地
- 甲府市西部には「ミレーの美術館」として親しまれている山梨県立美術館
- 甲府市北部には「国の特別名勝」として有名な、昇仙峡
- 甲府市東部には「武田氏ゆかり」の神社仏閣が広がる、その中心 甲斐善光寺
- 甲府駅北側には、武田神社
- 甲府駅東側には、舞鶴城公園(甲府城跡)

人の流れのイメージ図



観光スポット間の移動こそあるものの、点が繋がり、中心市街地を含めた面的な広がりまでには発展していない。

2 目指すべき姿

昼夜楽しめる観光拠点の確立

概要

- 中心市街地を持つ強みの一つ集積する飲食店を中心とし、そこに地域特有のジュエリーや甲州印伝、ワインなどを呼び水とした観光誘客の仕掛けづくりにより、甲府駅を中心とした観光拠点の確立を目指す。

昼間

夜間

ショッピングやアトラクションを中心とした仕掛け

飲食を中心とした楽しみ方の仕掛け

まとめ

交通

- オフィスや学校が集中するエリアであり、電車・バスなど交通拠点となっている

- 電車・バス・タクシーなど、公共交通機関は充実している

飲食

- オフィスが集積し、ランチなど和洋中様々な飲食が可能
- 郷土料理を楽しめる

- ワイナリーが多くワインや地ビールなどアルコール類を楽しめる
- 郷土料理を楽しめる

ショッピング

- 「宝石のまち 甲府」といわれるように、ジュエリー工房やショップが点在
- 鹿革を使った伝統工芸品の「甲州印伝」
- 「日本で初めてワインが醸造されたまち」豊富な種類のワインが買える

アトラクション

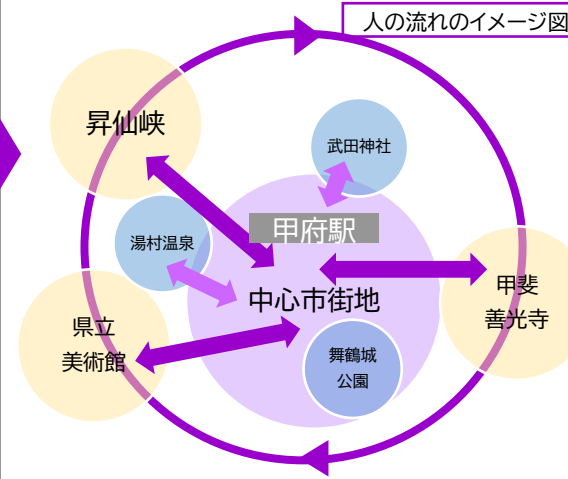
- ジュエリーミュージアムでは、宝石研磨やアクセサリ制作の体験ができる
- ワイナリーの見学

【観光客入込数】

観光スポット	2020年	2021年
昇仙峡	311,441	334,382
武田神社	412,868	359,145
甲斐善光寺	22,385	27,522
県立美術館	140,065	226,432
湯村温泉(宿泊)	77,254	60,330

甲府駅を中心とした中心市街地を観光拠点にした周遊性の高い都市型観光

人の流れのイメージ図





その他の観光資源



【甲府盆地の夜景と富士山】
盆地という地形的な特徴から、宝石を散りばめた様な夜景と富士山を楽しむことができる。



【東光寺】
甲府駅を中心に北側と東側には武田氏ゆかりの神社仏閣が数多く点在し、歴史文化が市民生活に溶け込んでいる。



【甲州夢小路】
昔の甲府城下を再現したレトロな雰囲気のある街並みに、山梨自慢のグルメ、ワイン、ジュエリーなどの地場産品のショップが建ち並ぶ。

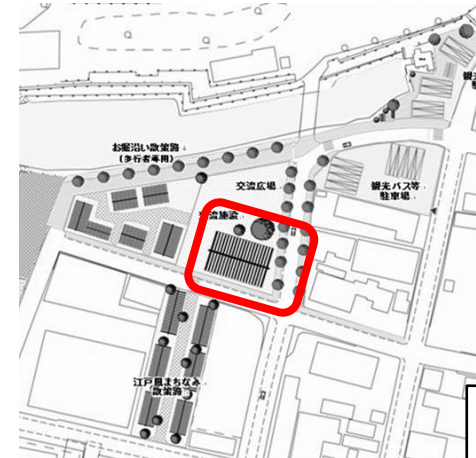


【藤村記念館】
甲府駅北口には明治8年に建てられた擬洋風建築の学校校舎が移築されている。校舎内には明治期の教室の様子が再現されている。

追加ミッション

★甲府城周辺地域活性化実施計画 ～交流施設活用方法の検討～

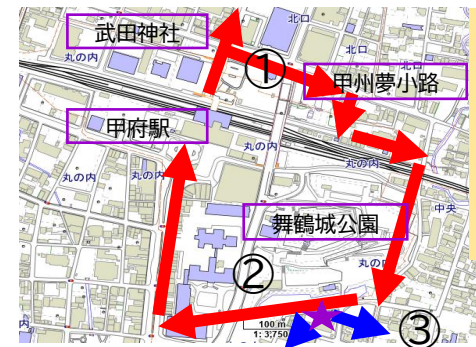
建設予定の建物イメージ



- 【参考】
- ・ 甲府城の石垣とお堀が織りなすロケーションと調和した意匠
 - ・ 江戸時代の商家をイメージした、瓦葺、白漆喰と板張りを基調とした土蔵づくりの外観
 - ・ 広場や道路側はガラス張りとし一体感や開放感を創出

【基本的な考え方】

- ① 甲府駅を中心に、武田神社/甲州夢小路/舞鶴城公園のルートは確立している
- ② 観光のメイン施設(その施設単体では、機能性が低い)としてではなく、サブ施設としての機能が良いか
- ③ 立地場所などから、街中への誘導機能を備えている



必要とされる要素

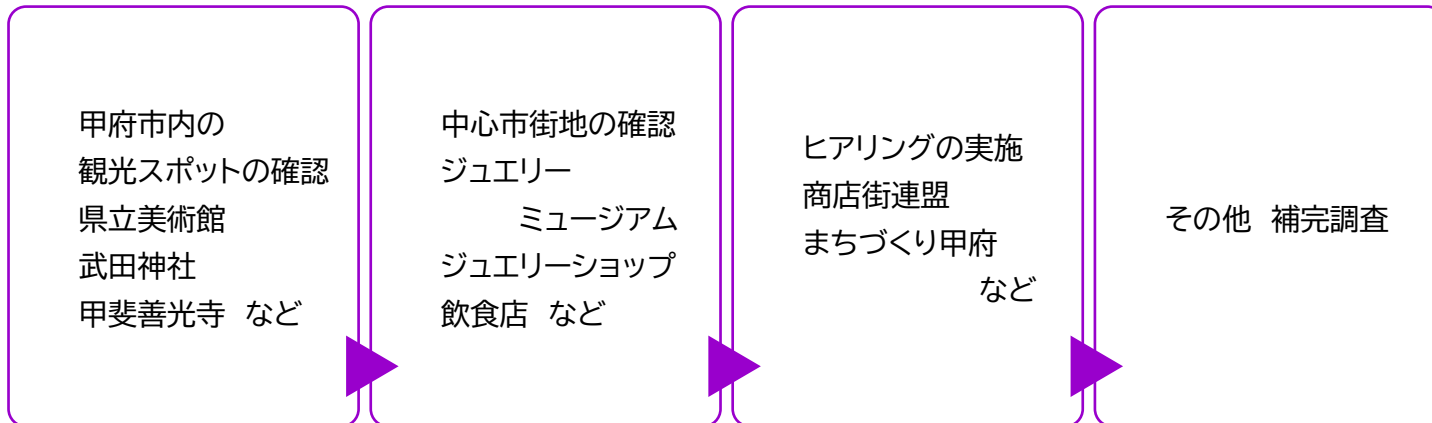
- | | |
|--------------|----------------|
| ① 流れを変える要素 | 回遊してくる人を街中へ |
| ② 回遊する人の増加要素 | 回遊の流れに乗せるための集客 |



スケジュール

期間	4-5月	6-7月	8-9月	10-1月	2-3月
フェーズ		事前学習	現地調査	学内での事後調査	報告会
スケジュール		★6月:ワークショップ(状況説明等)			
			★7月:事前研究		
			★8月~:フィールドワーク(地元ヒアリング)		
				★10月~:調査結果の整理/提案の検討	
					★2月~:報告会/提案

フィールドワークの内容(案)



学生たちに期待すること

- ・ 甲府市内の主要な観光スポットやサブスポットと中心市街地を強く結びつけるための仕組み
- ・ 追加ミッションの『甲府城周辺地域活性化実施計画 ~交流施設活用方法~』により、中心市街地の中でも、人の周遊が引き起こるようなアイデア
- ・ 人の興味喚起や消費行動を誘発させるような仕掛け

以上のような要素を含めた提案を楽しみにしています！

~最終目標~

持続可能な地域づくり のために

【観光】という手段を用いて 地域を活性化させる。

つるし 都留市

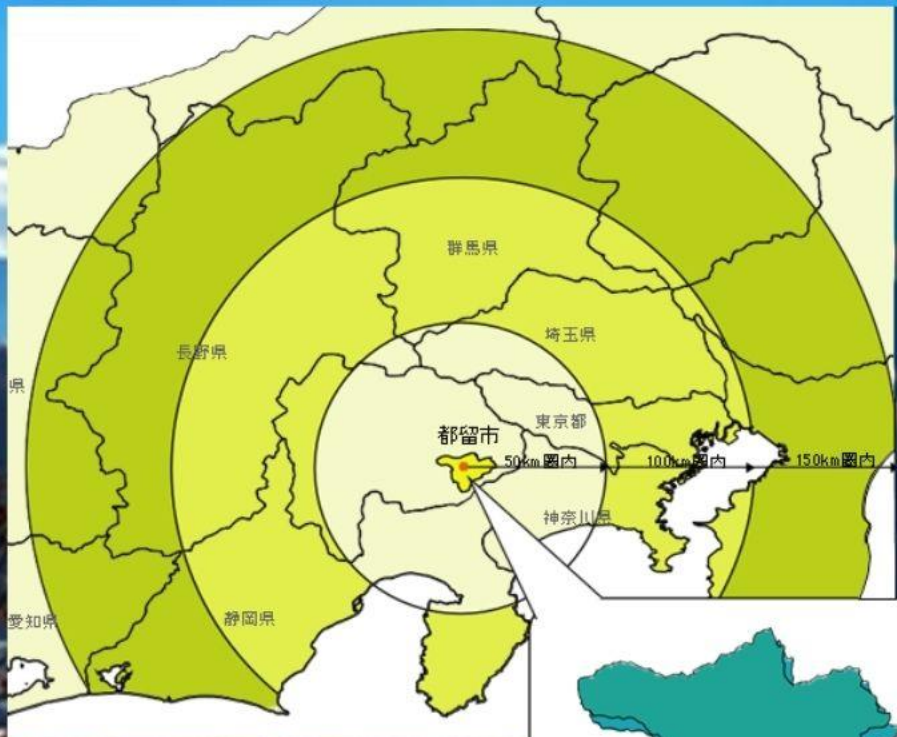
～富士の麓の小さな城下町～

2022年度 フィールドスタディ型 政策協働プログラム

キーワード

- ・新しい学びの場・産業創出
- ・東京一極集中是正
- ・探究・好奇心・実証実験

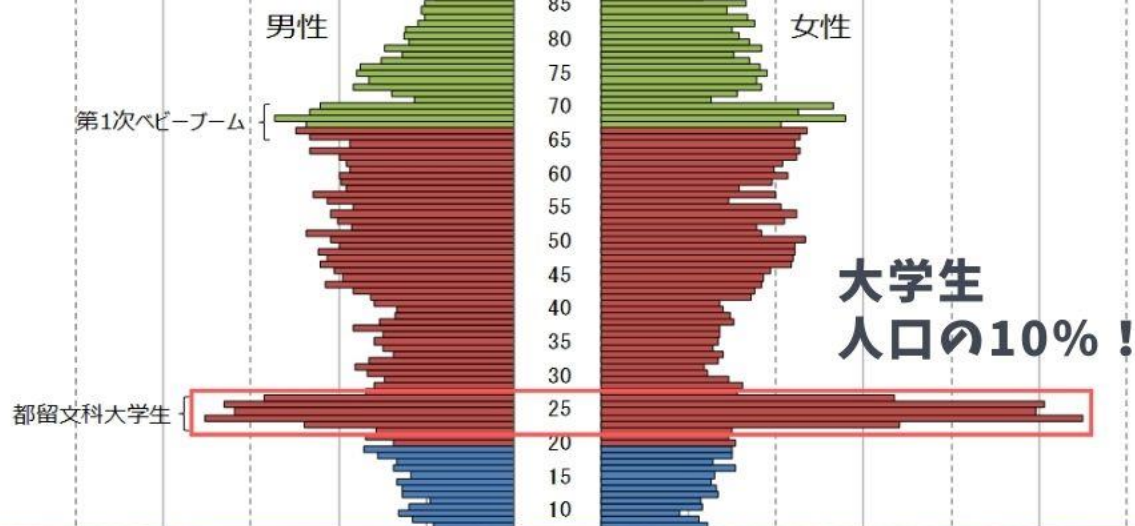
都留市



都留市

- ・新宿から90km
- ・電車で約80分
- ・車で約60分

人口 = 30,000人



- ・「生涯活躍のまち構想」のトップランナー
- ・市内に3つの高等教育機関が立地し、学びのまち「教育首都つる」を標榜 (都留文科大学・健康科学大学看護学部・産業技術短期大学校)
- ・自然 (富士山の伏流水・つるアルプス・自然体験施設・ワーケーション施設等)
- ・文化 (城下町・おすそ分け精神)

都留市の特徴・課題

課題①

子どもたちの学び・地域への関心が低い
教育首都つるなのに！？

→ 子どもの学習意欲が低い・・・
学びの選択肢が少ない・・・

課題②

大学生や市内若年層など若者の就業先が少ない
毎年800名の若者が都留市に来ているのに！？

→ 1%しか残らない・・・
仕事がない・・・

The background is a collage of various images related to education and science. On the left, there's a close-up of a hand holding a small object, possibly a component of a machine or a biological specimen. In the center, there's a faint image of a person working at a computer. On the right, there's a close-up of a person's face, smiling, with a green leaf held up to their eye. The overall theme is about learning, research, and practical application.

テーマ

**「生涯活躍のまち・つる」の
地域資源を活用した
特色ある教育におけた
「探究プログラム」の検討**

学生の皆さんへ

**「学び」へ向かうモチベーションを持っている皆さん！
主体的に学ぶにはどのような体験が子ども時代に必要か
学生の皆さんの目線で是非考えてください**

期待すること

- 都留市のこと、都留市の子どもたちのことをよく知る
- 都内の教育環境の現状を把握する
- 都留市ならではの探究の種の発掘をする
- 探究プログラムの検討作成をする
- 仮稼働中の塾での実証実験も可能
- 効果検証の手法の検討をする

活動スケジュール（案）

4/19

オリエンテーション

5～7月

オンライン打ち合わせ・学内での資料集め・既存の探究塾調査
都留ツアー事前打ち合わせ・プログラム案の作成 など

8～9月

都留の資源発掘ツアー・都留の子どもたちの現状や課題の把握
探究塾の講師人材育成現場見学 など

10～2月

探究プログラム作成・オンライン打ち合わせ
追加調査・途中経過でのプログラム実証実験・効果検証 など

2～3月

報告会





Mie Prefectural Government



Toba City

フィールドスタディ型政策協働プログラム オリエンテーション資料





Mie Prefectural Government



Toba City

Title

ふるさと納税制度を活用した関係人口の創出
及びプロモーション展開



Mie Prefectural Government



Toba City

Toba City Overview

伊勢神宮のお膝元

真珠養殖発祥の地



4つの有人離島

観光客が多い

日本一海女が多い



Mie Prefectural Government



Toba City

Activity Content

- ▶ 既存の鳥羽市内の魅力を体験しビジュアル化する
- ▶ 未発掘の魅力を発見し人と関わる仕組みを検討する

Hope

- ▶ それぞれが持つ感性を活かした視点、助言
- ▶ 地域ニーズを把握とロジックに則った整理



Mie Prefectural Government



Toba City

Charm





Mie Prefectural Government

Toba City

Charm



「道行竈の日本酒造り」の安定的な経営と日本酒造り
～を契機とした限界集落に於ける地域（農業）の再生～

 南伊勢町道行竈区

地域の概要

【南伊勢町】

平成17年に南勢町と南島町が合併

人口・・・ 11,552人

高齢化率・・・ **52.4%**

主な産業・・・水産業（漁獲量は三重県**No.1**）
農林業（**温州みかん**、柑橘類等）



伊勢志摩国立公園内の鶴倉園地

【道行竈（みちゆくがま）区】

人口・・・ **37人** (24世帯)

高齢化率・・・ **60%**

主な産業・・・ **水稻を中心**とした農業集落

源平合戦のころ、平家の落人が入植したものの、先住者によって既に漁業権が握られていたため、塩竈を造り塩を焼き、わずかな耕地を開いて自活したという「平家落人伝説」が伝わる「南島八力竈」（なんとうはっかかま）の一つ



道行竈の田んぼ



道行竈の入り江

地域の現状と課題

- 人口減少、高齢化に伴い米作りを担う人材が減少し
耕作放棄地が増加
- さまざまな観点から地域農業の再生について考え、地域の土地利用、竈方文化、ICT活用など**一体的なシステムのモデル**を構築したい



- 南伊勢町と皇學館大学が締結した包括連携協定の一環として、**日本酒プロジェクト**が始動。地域住民を中心とした有志により「**チーム道行竈**」が結成され、道行竈の酒造りが始まった。



- 安定的な経営に向けて**経営改善**や**販路拡大**に向けた取組みが必要

これまでの活動

2018年

日本酒プロジェクト始動

南伊勢町、皇學館大学が締結した包括連携協定の一環として地域と一体となり**日本酒プロジェクト**が始動。



2019年

純米大吟醸「道行竈」完成

耕作放棄地**35アール**の田を復田し、酒米「**神の穂**」の栽培を開始。
伊賀市の**若戎酒造株式会社**がお酒を醸造。
東大FS受入（2名）



2020年

チーム道行竈を法人化

団体の法人化行い、**NPO 法人チーム道行竈**を設立。
地域おこし協力隊も加わり**45アール**の耕作放棄地を新たに復田し、コシヒカリの栽培を始める。
東大FS受入（7名）：オンライン開催



2021年

コシヒカリの栽培を拡大

さらに**45アール**の耕作放棄地を復田。
販路拡大のため、**郵便局**での販売や**オンラインショップ**を開設した。



具体的なプログラム

【東大生に期待したいこと】

- 日本酒の**販路拡大**や**経営改善**のためのアイデアの検討と実行
- 中山間地での**効率的な農業経営**のための具体的なアイデアの提案
- 現地活動に加え、**首都圏や東大をフィールド**にした道行竈の取組みの**情報発信**

さらに・・・

- 日本酒プロジェクトを含めた、限界集落における農業の再生に必要な**収益モデル改善のためのアイデア**の提案
- 道行竈の取組や、それを含めた**「地域システム」が持続可能な形で継続できるようなアイデア**の検討と着手

小学校を活用した

サテライトキャンパス「田根ラボ」

による魅力ある地域づくり



滋賀県 長浜市
田根地区・地域づくり協議会



田根地区の現状

R4. 3. 1現在

- 自治会 ⇒ 14自治会
- 世帯数 ⇒ 558世帯
- 人口 ⇒ 1486人
- 高齢化率 ⇒ 41.25%
- 児童数 ⇒ 52人



現状から見える地域課題

- ◆ 過疎化
- ◆ 少子化
- ◆ 高齢化



多数の自治体が直面
だからこそ、意義がある！

お願いしたいこと

- ◆ 小学校内にサテライト
キャンパスの開設
- ◆ 開設したサテライト
キャンパスの活用

地域が期待すること

- ◆ 小学校の魅力を向上させ、こどもの流失を抑え、流入を促すことで過疎化・少子化対策として期待。
- ◆ 人との交流が地域を活性化



田根地域のアピールポイント

- ◆ 地域課題に対する解決策の

「臨床研究・臨床試験」

が出来ます。

新しく開館する境港市民交流センターを 地元高校生に活用してもらうためには

2022年4月19日
東大FSオリエンテーション

境港市ってどんなところ？

《人口》約3万3千人 《面積》約30km²
《地質》平坦な砂地で大きな川がなく、水害や
土砂災害がない

- ・鳥取県の北西部、弓浜半島の北端に位置し、三方が海に開けた『港町』
- ・「米子鬼太郎空港」から東京便が発着
東京 飛行機 約1時間20分
市役所から空港まで車で10分程度
- ・小学校6校、中学校3校
- ・高等学校
普通科高校1校、技術科高校1校



境港市の楽しみ方（魚・海・妖怪）は
ホームページ等でご確認ください。

境港市民交流センター（みなとテラス）の概要

基本理念 「市民が集い、安心できる、交流と防災の拠点づくり 開館予定

～みんなが集まる広場のような複合施設～

令和4年7月10日

弓ヶ浜広場と建物外観のイメージ



エントランスホールのイメージ



ホール（平土間）のイメージ



機能

- ホール
(800人収容)
- 図書館
- 会議室
- 防災拠点 等



図書館のイメージ



ホール（客席展開時）のイメージ

学生に期待すること（3点）

- ①市民交流センター内の図書館、ホール、会議室等の機能を踏まえて、境港市の**高校生**がどうすれば市民交流センターを**活用したくなる**か提案してほしい。

活動内容

- ・類似施設の事例調査（〇〇市民交流センター）
- ・若者世代による複合施設活用の事例調査
（例：武蔵野プレイス ティーンスタジオ）

学生に期待すること（3点）

②境港市のこれまでの生涯学習・社会教育に関する取組を踏まえ、他の**社会教育施設**と市民交流センターが**相互に連携**した活用方法を提案してほしい。

活動内容

- ・市内の社会教育施設の現地調査
（市内7公民館、海とくらしの史料館 等）
- ・高校生活用のヒントとなる場所や人の現地調査

学生に期待すること（3点）

③境港市の**高校生**と**交流**して、外部人材だからわかる境港市の課題や魅力、住んでいてわかる東京の課題や魅力について伝えてほしい。

活動内容

・境高校、境港総合技術高校、市内在住高校生と交流して、地元高校生の生の声をヒアリングしてほしい。

活動スケジュール（案）

6月：オンライン形式での交流

- ・類似施設の事例調査、若者世代による複合施設活用

8月：現地活動（5日間程度）

- ・市内の施設やキーパーソンの現地調査
- ・地元高校生との交流

9月～11月：オンライン形式での交流

3月：現地報告会

令和3年度の東大FSでも同様のテーマで依頼。

コロナ禍のため、現地活動ができませんでした。

前年度の研究成果を引き継いでいただきたい。

皆様のお越しをお待ちしております！

2022年度 東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム 提案書

観光DXで中海・宍道湖・大山圏域 の未来を描く

～ うんぱく3城を中心に ～



国宝松江城



月山富田跡



米子城跡

中海・宍道湖・大山圏域市長会
(松江市・出雲市・安来市・米子市・境港市)

中海・宍道湖・大山圏域市長会

平成24年4月1日 結成

構成

(島根県) 松江市・出雲市・安来市

(鳥取県) 境港市・米子市

鳥取県西部7町村 (オブザーバー)

目的

中海・宍道湖・大山圏域の構成市の行政上の共通課題等について連絡調整を行い、圏域の総合的・一体的な発展の推進を図る。



ウンパくん (市長会イメージキャラクター)

雲伯 (うんぱく) = 出雲国 (島根県東部) + 伯耆国 (鳥取県西部)

めざすべき圏域の将来像

水と緑がつながる 人がつながる 神話の国から 未来へつなげる
～あたかも一つのまち 住みたくなる中海・宍道湖・大山圏域～



中海・宍道湖・大山圏域の観光資源

松江市

国宝松江城、玉造温泉
国際文化観光都市、堀川遊覧船



松江

境港市
水木しげるロード、
サイクリングロード



安来

安来市
月山富田城址、足立美術館
安来節演芸館



米子市
米子城址、
皆生温泉、
伯耆古代の丘公園



出雲市
出雲大社（国宝）
日御碕灯台



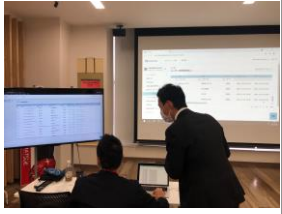
大山圏域
大山、とっとり花回廊



中海・宍道湖・大山圏域でのデジタル化に対応した取組み

事業名：リモート商談会開催支援事業（令和3年度）

- 【目的】 経済交流を基礎とする台湾旅行者との関係性維持のためコロナ禍での現地商談会代替環境の整備
- 【内容】 ・旅行商品造成を目的として台湾会場の現地旅行者と当圏域会場の地元旅行者によるリモート商談会を開催する（1日想定。参加者数によっては日程追加） ・温泉や庭園等の観光施設を中心とした旅行商品について商談を実施。
・台湾側のニーズ把握とともに圏域の最新の観光情報を提供。双方の旅行者のマッチングにより旅行商品造成と誘客体制を構築。



事業名：温泉宿泊施設を活用したワーケーション商品造成事業（令和3年度）

- 【目的】 コロナ禍での温泉宿泊施設の稼働率向上、オフシーズン対策の新たなプラン創出。関係人口増加。
- 【内容】 ・温泉宿泊施設でのリモートワークによる長期滞在を促進し旅行消費の増加を図るワーケーションの旅行商品を造成。
・圏域内にあるそれぞれの温泉地（出雲市：湯の川温泉、松江市：玉造温泉・松江しんじ湖温泉、安来市：さぎの湯温泉、米子市：皆生温泉）の特色を活かした内容とするため、各温泉組合や関連事業者と連携し、宿泊形態やオプションサービス等の検討会を実施。



事業名:オンラインで「山陰の日本一と人の魅力に出会う旅」造成・流通環境整備事業(令和4年度)

- 【目的】 国内旅行需要の回復、掘り起こし、早期誘客を図るためにオンラインツアーとリアル観光商品の併用により、人に出会い、体験を交えた新しい旅を造成し、新規顧客獲得とファンづくりを推進。
- 【内容】 ・観光地として魅力に加え、圏域にある日本一の農産物、水産物等の地場産品を交えた他地域と差別化したオンラインツアーを造成する。
・併せて、現地の生産者等に会うことができる観光商品を造成し、地場産品の消費拡大と当圏域への来訪動機付けによる新たな顧客獲得、買ってもらい、再び訪れてもらうファンをつくる。



うんぱく3城のこれまでの取組



松江城

H27年に松江城天守国宝指定

- ・桜まつり
- ・武者行列
- ・松江水燈路
- ・常設ライトアップ



月山富田城跡

山城ブーム到来！
歴史番組や雑誌掲載で高評価！

- ・幸盛祭
- ・歴史体感ウォーク開催



米子城跡

日本最強の城
～ 一度は行きたい絶景の城～

- ・石垣ライトアップ
- ・歴史ウォーク開催

【国宝松江城と月山富田城・米子城跡の3城連携した事業】

「御将印」の三将販売

「お城E X P O」への共同出展

「うんぱく三城」御城印めぐりキャンペーン



企画内容について

観光振興における方向性

様々な観光資源を磨き上げ、相互に波及効果を生み出す事業を行い、圏域内の滞在時間の延長等、周遊観光の促進を図っていきたい。

圏域の課題

- 様々な分野でデジタル技術の導入やDXが進んでいる中で、デジタル技術を活用した観光コンテンツとしての付加価値の飛躍的な向上について課題が残っている。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う海外への旅行制限及びオンライン観光の普及により、リアルな観光への期待が増大する中、観光における新たな体験価値の提供がこれまで以上に求められている。
- 圏域においても、ワーケーション、オンラインツアーの造成等、デジタル技術を活用した取り組みは始まっているが、引き続き取り組みを強化し、より魅力的な観光地域づくりを推進する必要がある。

提案に求めるもの

近年利活用が進むデジタル技術と観光資源との掛け合わせによる相乗効果を発揮させ、歴史、文化、自然などの魅力に新たな付加価値の創造や観光における体験価値の向上を実現し、地域内外の人が豊かさを実感し、持続可能な地域づくりに資する、新たな圏域観光モデルをウニパク3城を中心に検討する。また山陰インバウンド機構等他団体とのDX連携についても検討する。

フィールドスタディ型政策協働プログラム オリエンテーション (令和4年4月19日)

かがやくけん、かがわけん。

香川県

「せとうち田園都市・香川」を活かす新たな移住・定住促進施策の構想
～デジタルを活用した移住相談システムの構築等に向けて～

現地活動フィールド

高松市



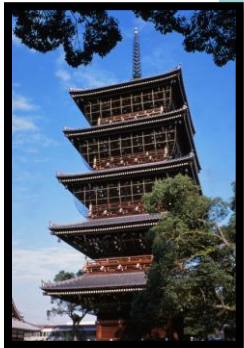
三豊市



香川県の地理と今回のフィールド

◎香川県は、海・山・島がいずれも身近で、多様な魅力を持つ8市9町で構成

⇒今回の現地活動では、地域性の異なる2市 { 四国の玄関として栄えてきた「瀬戸の都」高松市(東讃) } がフィールドです！
{ のどかなが不便でおよ「ほどよい田舎」三豊市(西讃) }



アクセス	
東京から	航空機: 1時間15分、鉄道: 4時間30分
大阪から	鉄道: 1時間50分、車: 2時間30分
岡山から	鉄道: 1時間 (海峡部の児島-宇多津間は15分)

※航空機は主要空港間、鉄道は都府県所在地の主要駅間の時間です。

香川県と今回のフィールドにおける現状認識

※本資料中の統計値は「100の指標からみた香川(令和3年版)」等による。
(「約」等の記載は一部省略)

〈今回のフィールド〉

◎四国の玄関として栄えてきた「瀬戸の都」高松市

- 📍人口: 約42万人(香川県人口の約44%)
- 📍面積: 375km²
- 📍人口密度: 約1,115人/km²(東京都文京区の約5%)
- 📍民間事業所数: 23,223(中核市5位)
- 📍高松空港から海外直通便が4路線運航(四国最多)



◎のどかだが不便ではない「ほどよい田舎」三豊市

- 📍人口: 約6万人(香川県人口の約6%)
- 📍面積: 222km²
- 📍人口密度: 約282人/km²(東京都文京区の約1%)
- 📍鉄道や空港へのアクセスも比較的良い(高松空港へは自動車約1時間)
- 📍SNSで話題の美しい自然(日本のウユニ塩湖と呼ばれる「父母ヶ浜」や桜の名所「紫雲出山」)



⇒日本一小さいながら、**活気あふれる街**と **美しい景観、穏やかな自然環境を有する暮らしやすい県**

・・・他方、**コロナ禍**でいわゆるテレワーク移住や二地域居住の動きが進む中、

関東近県等に比べると**移住者数には伸び悩み傾向**も (R2年度移住者数: 2,721人)

➤コンパクトな中に田園の潤いと都市の利便性を併せ持つ**“香川ならではの魅力”**をどう伝えるか？

➡ 各県等の施策が競合する中で、**デジタルや関係人口等の視点を踏まえた香川県ならではの先進的な移住・定住促進施策を打ち出したい!**

課題設定

- 本年度の施策として、移住（検討）者等と先輩移住者等が**気軽に情報交換できる環境**をつくるため、**SNSコミュニティ「かがわ暮らしつながり隊」を開設**（Facebookを利用／5月頃までに正式公開予定）

👉 **学生の皆さんも、ぜひ本コミュニティにご参加ください！**

➡ **関係者のニーズ収集・分析を経て、AIを活用した移住相談システム構築等についても検討したい！**

学生の皆さんに取り組んでいただきたい課題



I AIによる移住相談システム構築等を見据えたFAQフローチャート等の取りまとめ

👉 **実際に移住を検討している方の立場に立って、その仕事・住まい・その他の志向に合わせた問いと回答をロジックツリー形式で整理するなど、その基盤づくりをしていただきたい**

II 特定のテーマに捉われない香川県ならではの移住・定住促進施策の提案

👉 **皆さんの興味・関心に応じた学術知見等を参照しながら、デジタルや関係人口等の視点を踏まえた香川県ならではの先進的施策を自由に構想・提案いただきたい**

現地活動(フィールド)案

※都合により変更となる場合があります。

- 高松市や三豊市をフィールドに、次の関連施設・団体を訪問し、関係者と情報交換していただきます。

高松市(県庁所在地)

就職・移住相談窓口「ワークサポートかがわ」



三豊市(県西部)

移住サポート団体「財TURN*」



オープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」



東京大学大学院松尾研究室みとよサテライト「MAiZM」



その他、県内各地域の先輩移住者(「かがわ暮らし応援隊」等)の方々との意見交換などを通じて、幅広い関係者の生の声に触れていただきます。

年間スケジュール案

※都合により変更となる場合があります。

- ・ 6～7月頃 **ワークショップ** (県担当者とのオンライン打合せ)
SNSコミュニティ「かがわ暮らしつながり隊」(5月頃開設予定) **参加登録**
- ・ 8～9月頃 **現地活動** (2～3日間*・予定)
- ・ 2～3月頃 **現地報告会** (1～2日間・予定)

👉 具体的な日程は、**参加決定された学生の皆さんと調整**して決定します。

* 現地活動が3日間の場合は、うち1日を**自由調査・活動日**とする予定です。

👉 8月5日～9月4日(31日間)は、3年に1度の「瀬戸内国際芸術祭」の夏会期でもあります。

ぜひ、「世界の宝石」瀬戸内海の島々などにも訪れてみてください！



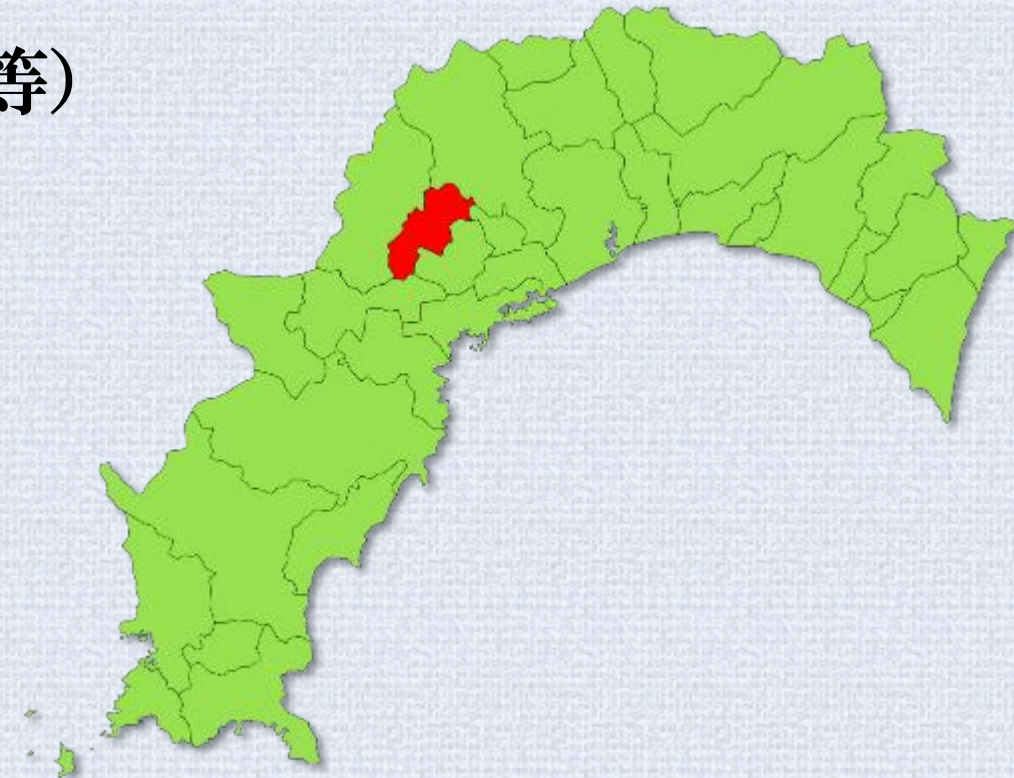
おちちょう
高知県 越知町

『アニメツーリズムの取り組みによる
交流人口・関係人口の拡大』

2022年度
フィールドスタディ型政策協働プログラム

越知町の概要

- 高知県中西部の山間地
- 高知市から車で約50分
- 人口：5,330人（R3.3.31時点）
- 高齢化率：46.74%（R3.3.31時点）
- 主要産業：農業（生姜、山椒、露地野菜等）
- 主な名所：横倉山、仁淀川



観光について①

➤ 『アウトドアなまちにするぜよ!』

- ・スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド
- ・スノーピークかわの駅おち
- ・おち・まち・そとあそび など



「自然回帰」もともとの人間の暮らしは自然との共存であったが、いつしか次第にそこを脱し、都市的な生活を築いてきた結果、その過程で自然や歴史的資源、文化などの古き良きものが失われてきた。

それらを取り戻すべく、自然に近い生活を再び求めようとするのが「自然回帰」ではないか。対極に向かった過程・経験・歴史があるからこそ「回帰」がある。

そこで越知町は、今なお残る山・川・里などの豊かな自然を活かした環境整備を推進し、多世代で自然に触れ「遊び」「学び」「楽しみ」を通して、人間が持ち合わせている「五感」「感性」などの「本来の人間力」を取り戻しながら「心豊かな生活」を営むことができる、『アウトドアなまち』を目指すことを宣言する。

2018年10月27日
越知町長

➤ アクティビティ

- ・カヌー、ラフティング等（6事業者）
- ・キャンプ場（6箇所）
- ・トレッキング（1事業者）

横倉山、聖神社



観光について②

イベントや地域行事等

1月

- ・ 凧あげ大会

2月

- ・ おち1グランプリ
- ・ おち駅文旦まつり

文旦まつり

3月

- ・ ぼんぼり桜まつり

ぼんぼり桜まつり

4月

- ・ 各地区花見

5月

- ・ 一斉清掃

6月

- ・ 柴尾地区虫送り

7月

- ・ 桐見川七夕まつり
- ・ によどかあにばる
- ・ 文殊大祭

によどかあにばる

七夕まつり

8月

- ・ 各地区盆踊り

9月

- ・ 五在所山秋の大祭

コスモスまつり

10月

- ・ 各地区運動会
- ・ コスモスまつり

ロマンティックイルミネーション

11月

- ・ 産業祭
- ・ おなばれ
- ・ 文化祭

12月

- ・ ロマンティックイルミネーション



アニメ映画「竜とそばかすの姫」の舞台のモデルに

➢2021年7月から公開された映画「竜とそばかすの姫」の中で浅尾(おそお)沈下橋が舞台のモデルになる



➢観光客増加によって地元の混乱が起きないようにシャトルバスを運行し、運行期間中(7.16~9.30)ののべ訪問者数は約1万人

➢「アニメツーリズム協会」が発表した「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」の2022年版で「聖地」に認定される



➢令和4年度に株式会社海洋堂が制作した竜のフィギュアを横倉山自然の森博物館に設置し、継続した取り組みを図る予定

※NHKの朝ドラに越知町の『横倉山』を植物観察のフィールドとしていた牧野富太郎博士がモデルとなることが決定し、さらなる観光客の増加も見込まれる

プログラムについて

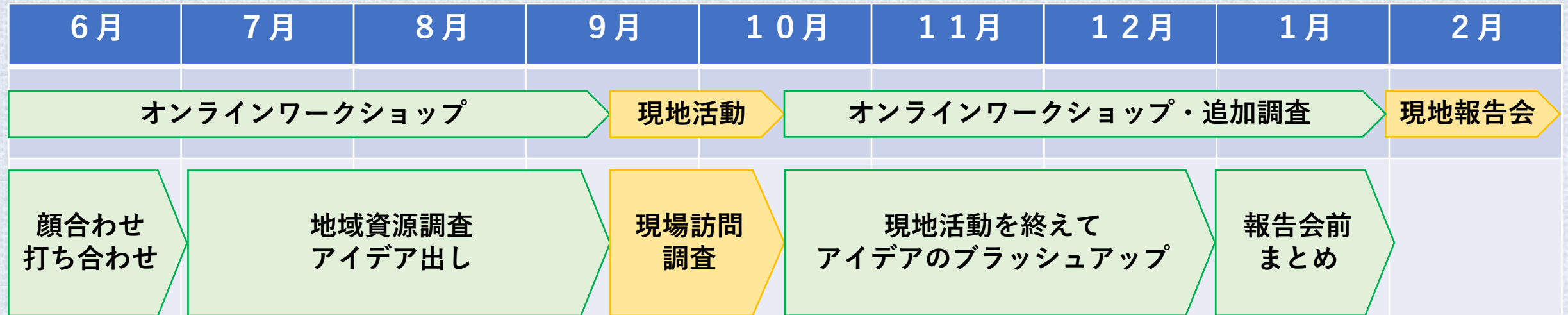
➤課題

『アウトドアなまち』として、拠点となる施設整備やイベントを実施している中、映画「竜とそばかすの姫」の舞台となり、今後も継続した交流人口の増加が期待されるが、受入体制や関係人口につながる仕組みが不十分である。

➤考えていただきたいこと

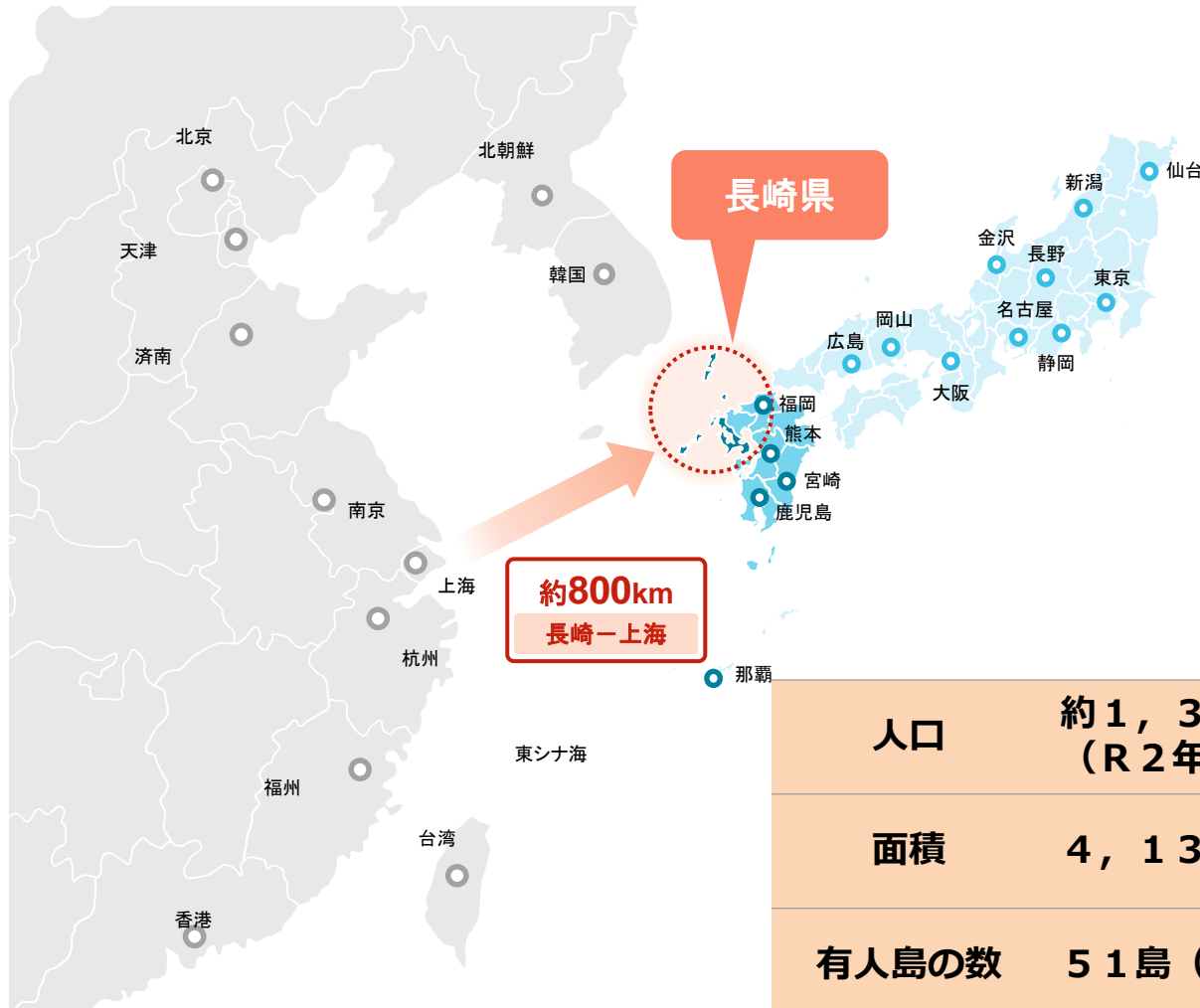
学生視点から見たアニメツーリズムの取り組みによる交流人口拡大のため、一過性にならない持続的な仕組みとその交流人口が関係人口へとステップアップする仕組みを考えていただき、地域内外の交流の促進を図りたい。

➤スケジュール

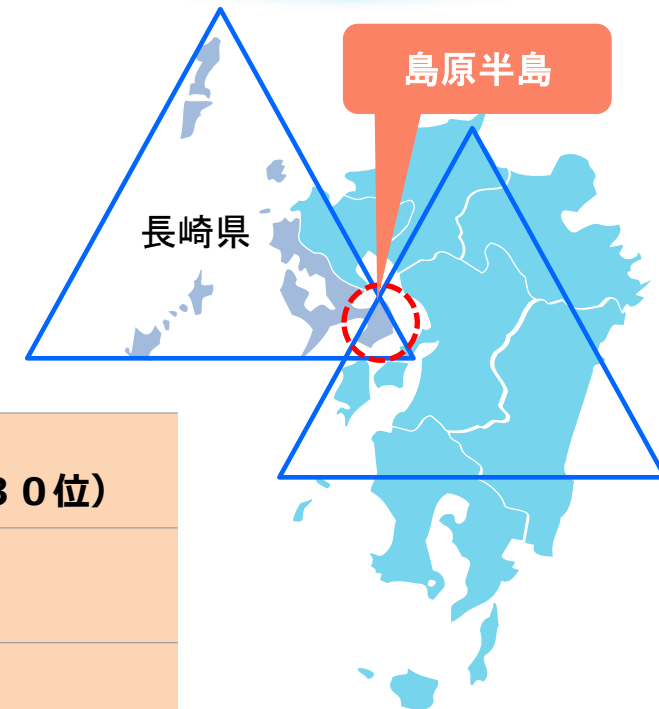


長崎県の位置・特徴について

- 長崎県は日本の最西端、九州の西北部に位置しています。
- 成長著しい中国沿海部の大都市や、韓国まで片道1,000km以内です。



長崎県の県域は
ほぼ九州本土と同じ



人口	約1,312千人 (R2年国勢調査、全国30位)
面積	4,132 km ²
有人島の数	51島 (日本最多)

■ 長崎県雲仙市の概況

☆長崎県の南東部、島原半島の北西部

雲仙普賢岳を取り巻くように位置

☆H17年10月に7町合併

☆人口 42,122人 (R4.2末現在)

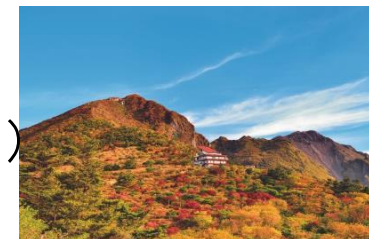
☆面積 241.31²m

☆農業産出額 279.2億円
(長崎県内1位)



■ 観光について

☆雲仙国立公園 (1934年 日本初の国立公園に指定)
雲仙天草国立公園 (1956年 天草地区編入)



☆島原半島ジオパーク (2008年 日本ジオパーク認定)
島原半島ユネスコ世界ジオパーク (2009年 日本初の世界認定)
第5回ジオパーク国際ユネスコ会議 (2012年 島原半島で開催)

☆平成新山 (日本で最も新しい山)

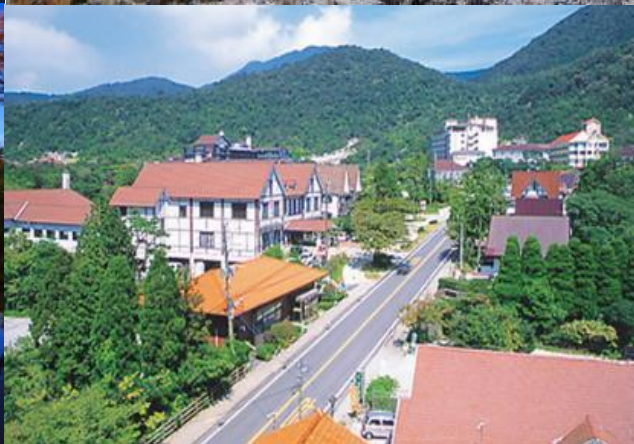
☆雲仙ゴルフ場 (1913年 日本初のパブリックコース)

☆ほっとふっと105 (日本一長い105mの足湯)

☆小浜温泉の熱量 (日本一)
※源泉温度105℃×1日湧出量15,000トン=熱量



■ 国立公園「雲仙」の四季



魅力

- 長崎県一の農業生産高
- 世界でも稀な食材の生産集積地（オーガニック、伝統野菜）
- 普賢岳山頂1400m～海0mまでが一つの自治体に
- 山頂域は日本初の国立公園
- 周囲は性格の違う2つの海（遠浅の有明海、急に深い橘湾）
- 火山の恵みでもたらされた、温泉街や肥沃な農業地帯
- 自然と人が共に作り上げてきた景観や暮らしや信仰がある

課題

- 小中学校の廃校もあり、このまま行くと10年後には、雲仙市の人口は7100人減、消費額95億円のロス。
- 観光と他産業の連携が脆弱で、体験プログラムやアクティビティのニーズにも応えられていない。
- 地元プレーヤーの不足・高齢化、連携するパートナー不足、地域のノウハウ不足。
- 加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で、市の主要産業である観光業は大きな岐路に立っている。

雲仙市側

2大産業の農業と観光等すばらしい魅力があるのに、プレーヤー不足、ノウハウ不足で、生かし切れていない



都市側

個人：健康・安心安全、生き甲斐、自分らしい生き方・働き方へのニーズの高まり
企業：三密・通勤を避けリモートワークの推奨、高額な事務所維持経費の削減



**地方と都市の交流によるオープンイノベーションで地域課題解決！
ソリューションの創出！相互に学び、高め合う場所づくり！**

目指すべき将来像：地域内外の人の気持ちの良い交流・交友関係づくり！

雲仙市をチャレンジできる場所に！そして、地域も元気に！
住む人も、働く人も、関わる人も、訪れる人もHAPPYに！

（雲仙ファンづくりから、移住定住・多拠点居住なども含めた関係交流人口の増加へ）

オープンイノベーションのプラットフォーム構築が必要！！

設立目的

- 【雲仙側】オープンイノベーションにより、**地域課題を解決**を目指す。
- 【都市側】雲仙の地域課題を事例に、アイデアの種を生み出したり、ソリューションに磨きをかけ、**ビジネスの成長**を目指す。
- 【共通】これらを通して、関わる**人材の育成**や**企業の価値向上**を目指す。

なぜ雲仙で

- ▶雲仙市観光戦略において、**地域の課題が洗い出され**、その**解決に向けたワーキング**が活動し、**各種プロジェクトが推進**されている。
- ▶地域に、**関わる熱い人々**がいる。
- ▶長崎におけるオープンイノベーションのプラットフォーム構築の機運の高まり。

雲仙側のニーズ

- 課題を解決したい…
- 問題意識はあるが、何が課題かわからない…
- どこに相談してよいかわからない…
- 課題解決のための新たな考え方やノウハウを学びたい…
- ビジネスベースに持っていきたい… 等々

都市側のニーズ(企業、組織、学生)

- 地域のリアルな課題にふれたい… (その中でも、本気の地域と関わりたい)
- そこで、地域と共に、ソリューションの種を、ビジネスに昇華させたい…
- その過程で、地域課題のような複雑系の課題に対処できる人材を育成したい…
- それが、地域貢献にもなれば… 等々

～魅力的な課題がここにはある～

雲仙大学

(バーチャル大学)

雲仙側に期待される効果

- 普段出会えない人や考え方・ノウハウに出会える！
- 地域課題の解決が図れる。
- アイデアが、ビジネスになる。
- 人が育つ。雇用が生まれる。
- 産業が活性化し、地域の持続可能性が高まる。
- 関わる人が増え、観光地としての幅が広がる。

雲仙での地域課題解決に参加することにより、雲仙側・都市側の両方の関わる人や、企業のレベルアップを目指す仮想大学

地方と都市の交流による
オープンイノベーションでの
Win-Winの地域課題解決型
ソリューション創出実践大学

都市側に期待される効果

- 普段出会えない地域の人や課題に出会える！
- ビジネスの種を見出したり、ソリューションの磨き上げ、ビジネスモデルの構築につながる。
- 生み出されたソリューションを、他地域に横展開できる！
- 地域課題のような複雑系の課題に対処できる人や企業になる！
- 自分事に置き換えて、想像できるようになる！

スケジュール

令和2年度

- ① 参加者に、雲仙側が課題（魅力を生かせていない）と考えていることを伝える
- ② 参加者とともに、各課題の現場と、それを何とかしようとしている熱い人たちに会いに行く
- ③ 今後、様々な人に、「参加したい」「関わりたい」と、思ってもらえるように、課題（問い）をブラッシュアップする
- ④ その課題を、教室・ゼミと見立て、雲仙大学のカリキュラムとする

令和3年度

- ① 雲仙大学の開校
- ② 課題解決に向けた取り組みを行い、関わる人がレベルアップしていく
- ③ それに魅せられて、関係する人が増えていく

令和4年度以降

- ① 地域課題の解決も図れ、好循環が起こっていく
- ② 島原半島内でも、関わる人（課題を持ち込む人）が増えていく
- ③ 長崎におけるオープンイノベーションのプラットフォームの一翼を担う

- 地域の人が、課題を持って参加したくなる場に！
- それら課題を、地域内外の交流で、ブラッシュアップする場に！
- それら課題を解決するためのソリューションを生み出し、磨きをかけ、人が育つ場に！
- 地域の高校生などにも参加してもらえるような場に！
- 魅力的な課題設定（問いの立て方）自体も、学ぶコンテンツになる！

昨年度（R3年度）の東大FSの取り組みの様子

【参加者の声】

- ☆雲仙市が抱える課題に直接触れることで、与えられたテーマなどが明確になり、「自分事」として捉えられるようになった。
- ☆雲仙には豊かな自然があり、情熱をもつ人達がいることを実感した。
- ☆温泉が一番有名ではあるが、仁田峠の紅葉や小浜温泉の夕焼けは美しく、多くの人に愛され楽しまれている理由がわかった。ヒアリングでは、10名程度から話を伺ったが、どの方もそれぞれの形で地域に貢献しようとしていて、刺激的だった。
- ☆これからも雲仙市の「第二市民」として携わっていきたい。

【R3年度のテーマ】

仮想大学『雲仙大学』について、
都会の学生や企業が積極的に関わっていた
だけの仕組み・方法やきっかけづくりについ
てご提案いただきたい♪



R4年度みなさんに取り組んでいただきたいこと

☆テーマ☆

地方と都市の交流によるオープンイノベーションの場、
仮想大学『雲仙大学』で雲仙市の課題解決と相互のレベル
アップを目指す♪ ※R3の提案を参考に実践・ブラッシュアップ！

スケジュール (案)

4月

オリエンテーション

5月～7月

オンライン会議等で、雲仙市の課題感や、**前回の学生の活動・提案等を把握**
周辺情報の事前学習

8月～9月

雲仙市での**現地活動**で現場の課題や解決して欲しい事業所等を把握

9月～11月

東京で都市側の大学や企業等にヒアリング
課題解決に向け、解決可能な人や企業の発掘・選定及びマッチングを模索

11月～2月

現地またはオンライン会議等で、地域の人と都市部の人とのマッチングの場の設定
課題解決に向けた意見交換及び解決に向けた取組みの実施

2月～3月

現地報告会にて、マッチングから課題解決に至る過程等の事例のまとめ
それらを踏まえ、ブラッシュアップした雲仙大学の仕組みづくりを提案

『全員集合！雲仙ポータル』

<https://www.unzen-portal.jp/>

雲仙の「今」をぜひご覧ください♪⇒

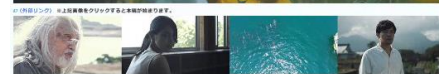
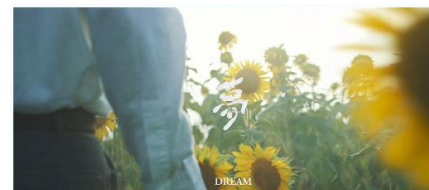




昨年度から2回目の参加の
「長崎県南島原市」です



♪～マイメン島原手延素麺
いつメン島原手延素麺～♪



ショートムービー「夢」「記憶の灯」



南島原市ブランディング
ムービーが完成

南島原市の魅力的な観光資源や特産品などを全国に発信する
ために制作したブランディングムービーが完成しました。
主演を務めたのは、映画やCMでも活躍中の満島ひかりさん。
今回は賛助にも1人で賛助人の役を演じていただきました。



満島ひかりさん

突撃！南島原情報局【神回】



「サウンドロゴ」

♪～Sun Sun 太陽 南島原～♪

話題性に富んだYou-Tube配信♪

【人口】 43,396 (R4.1末時点)

【面積】 170.11km²

【弱み】 交通の便が悪い
空港から車で2時間

【強み】 自然景観豊か・人が親切
星がきれい・海や山がすぐそこ





アクティビティの充実



イルカウォッチング



九州オルレ（南島原コース）



ボルダリング



SUP体験



サイクリング



気楽に登れる山が

全国第2位の生産量

特産の「島原手延そうめん」の生産量は全国第2位を誇る。



やっちゃん
うまうま



移住者が元気なまち



空き家DIY カフェ経営



釣りが好き過ぎて移住

・車エビ養殖場とイルカウォッチング勤務

農業・漁業も盛ん



アオサの収穫



南島原の春の訪れ「新たま」収穫



「空き家」の問題は、地方だけでなく都市部でも年々深刻化しており、景観上や衛生上の問題、倒壊等による保安上の問題、防犯上の問題など、地域住民としては、いち早く解決を求めたい課題である。

南島原市では、2021年度東大FSにおいて「空き家を生かした地域づくり」をテーマに「空き家を増やさない・空き家を活用した取り組み、南島原市スローサイクルの活用」について検討依頼、7名の学生が参加、以下の問題意識、解決案が提示された。

1. ワークーションを通じた関係人口増加の取り組み

年々増加傾向にある空き家について、移住者や関係人口など、定期的に使用する人たちを増やす、確保することが必要。また、空き家は全国的な課題であり、自然やサイクリングロードの活用、雲仙市や島原市との連携など、南島原市の特色を生かした解決策が求められる。

⇒解決策【南島原版ワークーションパッケージ】

2. 移住検討者・空き家所有者のコミュニケーションのオンライン化

空き家は市内に多数顕在しているが、空き家バンク登録まで至っていない。住民、所有者への意識づけ、空き家バンクに登録するメリットを考える必要がある。登録、閲覧などをもっと簡単にできないか。併せて、地域通貨（MINAコイン）を活用した仕組みを考えたい。

⇒解決策【アプリ作成（空き家バンクの充実・MINAコインの活用）】

2022年度は、上記2点の実践・検証を行いたい。その上で、地域（集落）の理解、協力は不可欠であり、モデル地域の構築を目指したい。



1. ワークーションを通じた関係人口増加の取り組み

★現状と課題

1. 年々増加傾向にある空き家の数
(人口減少・建物老朽化などにより)
→環境面、保安面への影響大
2. 全国的な空き家問題の顕在化
→南島原ならではの特徴を生かした解決策の必要性
3. コロナ禍における暮らし方・働き方の変化
→ワークーションの検討に大きな可能性⇔一方課題でも

★解決案

南島原版ワークーションパッケージ作成

- 1週間程度のパッケージ策定し、南島原市（周辺含む）で完結するツアーの実施
- 参加者は仕事しながら自転車歩行者専用道路での運動や体験アクティビティ、ショッピングを楽しむ
- 仕事場や宿泊する場所として改修した空き家や市の施設の提供

【皆さんに考えて欲しいこと】

1. 地域選定、参画者への協力依頼（事前・現地）
2. 宿泊施設として空き家確保の道筋（事前・現地）
3. 空き家のリフォームデザイン案（事前・現地・事後）
4. MINAコインとの活用連携
5. 南島原市らしいワークーションパッケージの作成（事後）
6. パッケージ改善のフィードバックシステムの構築（事後）



レンタサイクルによるサイクリング

南島原市でしかできないアクティビティもありますので、お楽しみに。



2. 移住検討者・空き家所有者のコミュニケーションのオンライン化

★現状と課題

1. 地域住民の空き家バンクへの登録が進まない
2. 移住検討者向けの情報が散在
3. 南島原市公式LINEアカウントはあるが、主に市民向け
4. お試し住宅の予約件数が増えているが、予約は電話、FAX、メール、管理が難しい

★解決案

空き家関連・移住関連の情報を集約し、情報提供・予約管理・個別相談対応の効率化を図る。

→新たな公式LINEアカウントの作成



「リッチメニュー」



【皆さんに考えて欲しいこと・実行して欲しいこと】

1. アカウント作成後の運用方法・メニューの検討（事前）
2. 高齢者がLINEを使いこなすためのサポート仕組み（事前・現地・事後）
3. MINAコインとの活用連携
4. アカウントの試験的運用（現地・事後）
（アンケートやインタビュー調査）



事業スケジュール

- 6月 2021東大FSメンバーとの顔合わせ・引継ぎ
- 6月～7月 **事前調査**
 - ・ワークショップ（空き家確保の道筋案）
 - ・オンライン化（アプリメニュー検討、高齢者サポート案、試験運用準備）
 - ・MINAコインとの連携模索
- 8月 **現地活動（1～2週間程度）**
 - ・市内周遊、地域住民との交流（実際に事業交渉）
 - ・南島原市の各種体験実践
 - ・LINEアカウントの試験的運用
- 9月～2月 **事後調査**
 - ・ワークショップ（空き家のリフォームデザイン、パッケージ作成等）
 - ・オンライン化（高齢者サポート仕組み、LINE公式アカウント再確認）
 - ・MINAコインとの連携
- 3月 **現地報告会**
- 随時 **WEB会議による打合せ、SNSでのやり取り**

本市を選ぶメリット

1. 地元高校生や市民との交流、美味しいおもてなしがあるかも～
2. 南島原市内のアクティビティを実践できる
3. 宿泊が、お試し住宅利用のため、宿泊費用がかからない
4. お試し住宅の前に温泉施設があり、世界遺産や海辺がすぐそこ



お試し住宅

※お試し住宅とは、移住検討者に対して10日間を上限に無料で居住する住居を提供し、市の風土や日常生活を体験し、移住を検討してもらう施設。

最後に

- 本市の市民と積極的に交流を図れる学生
- アプリ開発やデザイン等に興味を持った学生
- 課題解決に向けて積極的に発言し、行動してくれる学生

一緒に頑張りましょう♪

2022年度フィールドスタディ型政策協働プログラム 農林業ビジネス インターンシップ事業・東京大学編



諸塚村 2022.4.19

今、なぜ山村なのか？～宮崎県諸塚村

九州山脈中央に位置する旧高千穂郷

人口1,449人 655世帯 面積18,759^{ヘクタール}



林野率95%の山間に84集落が点在

林業立村明治40年(1907年)

～「森林理想郷」を目指す村づくり

小さな循環型経済 ～経済性より社会性重視

自治公民館制度 ～相互扶助により人材を育てる

小規模自治体ならではの産学官民の連携

～量を補う、人材の質と連携の組織力と社会運動力

<https://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp/>



諸塚村民文
諸塚の自然と相生の



諸塚村産直住宅
FSC®森林認証
FSC®しいたけ
世界農業遺産認定
J-クレジット制度
櫟の森づくりPJ-櫟地蔵
諸塚どんぐり材PJ
森の古民家
エコツーリズム
「やまで学校しよう！」
森のエコスクール
企業との包括連携協定

FSC®森林認証の取得

2004.10

20世紀末に地球規模で環境汚染、地球温暖化、資源の枯渇等の環境保護の重要性の高まり ⇒ 循環型社会への転換

1992年 リオ地球サミット

1993年 FSC® (Forest Stewardship Council 森林管理協議会)

★木材の環境ブランド化

諸塚村は日本で初めての村ぐるみでの取得に成功

「森林認証の村」

世界農業遺産に認定

2015.12

★地域を支える農林業複合経営

針広混交のモザイク林

自治公民館制度による人材育成

環境に優しい村づくり

継承すべき宝 たから

「高千穂郷・椎葉山地域」が
評価された8つのポイント

- 1 環境に優しいFSC森林認証の
広葉樹と針葉樹の混交林「モザイク林相」
- 2 公立中高「貫校」・五ヶ瀬中専学校や
公的農林業事業体「ウツレピア」産地の人材育成
- 3 木材・蜂蜜・香嵐、茶業、高冷地園芸等の
複数の作物を組合せる「農林業複合経営」
- 4 民意の結集である「自治公民館制度」の充実
- 5 力強い地域コミュニティに伝承される「神楽」
- 6 絶滅危惧種の希少植物が多く残る
「生物多様性の豊」
- 7 伝統的な「焼き畑」農業の維持
- 8 地域コミュニティで維持される500回以上の
「かんがい排水」

インターンシップの取組みは？

● F S のミッション：アクティブラーニング

- 正解のない課題に取り組むことで、多様な中山間地域の課題に**主体的・協働的**に問題を発見し、解決能力を持つ人材を育成し、関係人口形成につなげる
- 正しい答えを導くのではなく、答えにたどり着くまでの**過程（プロセス）**を重視し、地域住民に対し、机上の「絵に描いた餅」ではなく、実践に即した「使える対策」を求める



コース

- ① F S C 林業を極めるコース（林業ビジネス）
- ② F S C 椎茸生産コース（特用林産ビジネス）
- ③ 立体園芸・高冷地農業コース（農業ビジネス）
- ④ 中山間型畜産コース（畜産ビジネス）
- ⑤ 食×農6次産業コース（地域資源活用ビジネス）
- ⑥ 地域おこし農林業政策コース（地域振興事業）

今、なぜ山村なのか？

テーマ例：世界の目標を行動指針に

エコヴィレッジ諸塚の展開

～明治期から林業立村を目標に

環境共生の村づくりを進めている



FSC®森林認証による適正な森林管理

世界農業遺産に認定された農林業複合経営

環境に優しいエコツーリズムの推進

気候非常事態宣言による自治体SDGsの推進

